

●参考資料1 継続的調査としての継続性に関する考察

1974年度に「化学物質環境実態調査」が実施されて以降、一般環境中に残留する化学物質の早期発見及びその濃度レベルの把握を目的として、種々の対象物質が選定され、調査が実施されてきており、2011年度においては「初期環境調査」及び「詳細環境調査」として実施されている。こうした年度別の調査とは別に、一定の調査対象物質を経年的に追う継続的調査として、1978年度に開始した「生物モニタリング」をはじめ、「水質・底質モニタリング」、「指定化学物質等検討調査」、「非意図的生成化学物質汚染実態追跡調査」及び「指定化学物質等検討調査」等が実施され、2002年度より「モニタリング調査」として実施されるに至った。こうした継続的調査の実施経過の概要は次のとおりである。

調査名称 ^(注)	実施期間	媒体	調査対象物質
生物モニタリング	1978年度～ 2001年度	生物（貝類、魚類、 鳥類）	総PCB、HCB、アルドリン、 ディルドリン、エンドリン、 DDT類、クロルデン類、 HCH類等
水質・底質モニタリング	1986年度～ 2001年度	水質、底質	HCB、ディルドリン、 DDT類、クロルデン類、 HCH類等
非意図的生成化学物質 汚染実態追跡調査	1985年度～ 2001年度	水質、底質、生物（魚 類、貝類）、大気	総PCB等
指定化学物質等検討調査	1988年度～ 2001年度	水質、底質等	トリブチルスズ化合物、 トリフェニルスズ化合物 等
モニタリング調査	2002年度～	水質、底質、生物（貝 類、魚類、鳥類）、 大気	総PCB、HCB、アルドリン、 ディルドリン、エンドリン、 DDT類、クロルデン類、 ヘプタクロル類、 トキサフェン類、マイレックス、 HCH類等

(注) 調査名称は実施期間中の代表的なものであり、年度によって異なる場合がある。

1974年度から2017年度までのモニタリング調査対象物質の継続的調査における年度別実施状況は表1、継続的調査の年度別調査地点の状況は表2-1から表2-4のとおりである。

また、定量下限値および定量下限値については、2001年度の検出下限値は後述する「統一検出限界値」であり、2002年度以降の検出下限値は、分析を担当した民間分析機関における検出下限値である。なお、2002年度の水質及び底質は装置検出下限値（IDL）を、2003年度以降の水質及び底質並びに2002年度以降の生物及び大気は分析方法の検出下限値（MDL）をそれぞれ検出下限値として扱っている。

また、検出下限値の変化に対応した検出状況の変動については表3にまとめた。その際、地点の相違の影響を除外するため、継続して調査されている地点のみをみることにした。

検出下限値については、2001年度までの値と比べ2002年度以降の値が大きく改善している。

2001年度まで実施されていた「生物モニタリング」においては、主として地方公共団体による分析によっていたため、分析機関間の装置の違い等を考慮してデータ処理を行う必要があり、調査に当たりあらかじめ同一の検出下限値（「統一検出限界値」と称していた。）を設定し、データ処理をしてきた。用いていた「統一検出限界値」は、開始当初のGC-ECDによる分析を勘案して設定されたものであり、GC/MSが主流となっている現在の分析法では十分に定量可能な値であり、より高感度の分析を行った地方公共団体からは「トレース値」として別報告を受ける状況が続いていた。2002年度以降は分析機関が媒体ごとに一機関になったことに加え、高感度のGC/HRMSを用いた分析に移行しており、検出下限値は「統一検出限界値」に比べて一千分の一程度又はそれ以下となっている。

同じく2001年度まで実施されていた「水質・底質モニタリング」においては、開始当初からGC/MSによる分析であり、水質は0.01µg/L (= 10,000pg/L)、底質は1ng/g-dry (=1,000pg/g-dry)を「統一検出下限値」とし

て実施してきた。2002年度以降は高感度のGC/HRMSを用いた分析に移行し、2001年度に比べて、検出下限値は水質で一万分の一、底質で一千分の一程度に下がっている。

「非意図的生成化学物質汚染実態追跡調査」における総PCBは、1996年度及び1997年度はGC/MSで測定されたが、2000年度及び2001年度は高感度のHRGC/HRMSにより測定された。このため、2000年度及び2001年度は1996年度及び1997年度の一万分の一程度の検出下限値となっている。2002年度以降は2000年度及び2001年度と同等の検出下限値であった。なお、コプラナーPCBについては1996年度よりHRGC/HRMS分析が行われていたため、2002年度以降とほぼ同等の検出下限値であった。

・1974年度から2018年度までの調査地点の推移

表2-1 継続的調査の年度別調査地点の一覧（水質）

地方 公共団体	調査地点	年度																																			
		'86	'87	'88	'89	'90	'91	'92	'93	'94	'95	'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18			
北海道	十勝川すずらん大橋（帯広市）																																				
	石狩川河口石狩河口橋（石狩市）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
	苫小牧港	●	●	●																																	
青森県	堤川河口（青森市）																																				
	十三湖						●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
岩手県	雫石川															○	○																				
	豊沢川（花巻市）															○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
宮城県	仙台湾（松島湾）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
秋田県	八郎湖				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
山形県	最上川黒滝橋															○	○																				
	最上川須川合流点															○	○																				
	最上川河口（酒田市）																	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
福島県	阿武隈川															○	○																				
	小名浜港				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
茨城県	利根川河口かもめ大橋（神栖市）																	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	利根川河口利根川大橋（波崎町）																	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	霞ヶ浦				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																				
栃木県	田川給分地区頭首工（宇都宮市）																																				
埼玉県	新河岸川																○	○																			
	荒川秋ヶ瀬取水堰（志木市）																																				
千葉県	市原・姉崎海岸																																				
千葉県	花見川河口（千葉市）																	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	荒川河口（江東区）																○	○																			
	隅田川河口（港区）																	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	東京湾中瀬																	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
横浜市	鶴見川河口																	○																			
	横浜港																	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
川崎市	多摩川河口																	○	○																		
	川崎港京浜運河																		○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
新潟県	新潟東港																																				
	信濃川河口（新潟市）																																				
	信濃川下流（新潟市）																																				
富山県	神通川河口萩浦橋（富山市）																																				
	珠洲市沖	●	●	●																																	
石川県	犀川河口（金沢市）	●	●	●																																	
福井県	笙の川三島橋（敦賀市）																																				
山梨県	荒川（甲府市）																																				
	千曲川屋島橋（須坂市）	●	●	●																																	
長野県	諏訪湖湖心	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	清水港																																				
静岡県	天竜川（磐田市）																																				
	名古屋港																																				
三重県	長良川河口（桑名市）																																				
	四日市港																																				
滋賀県	琵琶湖早崎港沖																																				
	琵琶湖唐崎沖中央																																				
	琵琶湖浜大津沖																																				
京都府	宮津港																																				
	桂川渡月橋（京都市）	●	●	●																																	
京都市	桂川宮前橋（京都市）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	大和川河口（堺市）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
大阪府	泉大津沖	●	●	●																																	

地方公共団体	調査地点	年度																																			
		'86	'87	'88	'89	'90	'91	'92	'93	'94	'95	'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18			
大阪市	大阪港	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
	大阪港外														○	○																					
	淀川河口	●	●	●												○	○																				
兵庫県	香住三田浜	●	●	●																																	
	姫路沖	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
神戸市	神戸港中央										●	●	●	●	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
和歌山県	紀の川河口紀の川大橋（和歌山市）															○	○		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
岡山県	水島沖	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
	太濃地島西沖	●	●	●																																	
広島県	呉港				●	○	○											■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
	広島湾			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
山口県	徳山湾			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	宇部沖																	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	萩沖																	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
徳島県	紀伊水道															○	○																				
	吉野川河口（徳島市）					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
香川県	高松港			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
高知県	四万十川河口（四万十市）				●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
福岡県	大牟田沖			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																				
	関門海峡	●	●																																		
北九州市	洞海湾	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
福岡市	博多湾					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																				
佐賀県	伊万里湾							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
長崎県	大村湾																																				
	長崎港																○	○																			
熊本県	緑川平木橋（宇土市）																	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
宮崎県	大淀川河口（宮崎市）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	天降川（霧島市）																		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	甲突川松方橋（鹿児島市）	●	●	●																																	
鹿児島県	五反田川五反田橋（いちき串木野市）	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	中城湾																○	○																			
沖縄県	那覇港																																				
	那覇港																																				

- (注1) ◎：非意図的生成化学物質汚染実態追跡調査において実施したことを意味する。
- (注2) ●：水質・底質モニタリングにおいて実施したことを意味する。
- (注3) ○：指定化学物質等検討調査において実施したことを意味する。
- (注4) 「地方公共団体」は、試料採取を実施した地方公共団体の名称であり、複数年度実施している地点にあつては直近の年度に試料採取を実施した地方公共団体の名称を示した。
- (注5) ■は水質・底質モニタリング及びモニタリング調査を継続して実施している地点を意味する。

表2-2 継続的調査の年度別調査地点の一覧（底質）

地方公共団体	調査地点	年度																														
		'86	'87	'88	'89	'90	'91	'92	'93	'94	'95	'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16
北海道	天塩川恩根内大橋（美深町）																■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	十勝川すずらん大橋（帯広市）																■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	石狩川河口石狩河口橋（石狩市）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	苫小牧港	●	●	●													■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
青森県	堤川河口（青森市）										○	○	○	○	○	○																
	十三湖				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
岩手県	雫石川										○	○				○	○															
	豊沢川（花巻市）																■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
宮城県	北上川										○	○				○	○															
	仙台湾（松島湾）			○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
仙台市	広瀬川広瀬大橋（仙台市）																■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
秋田県	八郎湖			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
山形県	最上川黒滝橋										○	○				○	○															
	最上川河口（酒田市）																■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
福島県	阿武隈川										○	○				○	○															
	小名浜港			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
茨城県	利根川河口かもめ大橋（神栖市）																■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	利根川河口利根川大橋（波崎町）																■															
	利根川布川栄橋（利根町）										○																					
	霞ヶ浦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																
栃木県	田川給分地区頭首工（宇都宮市）																■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
埼玉県	新河岸川										○	○				○	○															
千葉県	市原・姉崎海岸			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
千葉市	花見川河口（千葉市）																■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
東京都	荒川河口（江東区）																■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	隅田川河口（港区）			○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	東京湾中瀬		○	○	○	○	○	○	○	○																						
	東京港外										○																					
横浜市	鶴見川河口																○															
	横浜港			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
川崎市	多摩川河口（川崎市）											○	○	○	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	川崎港京浜運河											○	○			○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
新潟県	新潟東港		●								○	○																				
	信濃川河口（新潟市）		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	■															
	信濃川下流（新潟市）																○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
富山県	神通川河口菟浦橋（富山市）																■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
石川県	珠洲市沖	●	●	●																												
	犀川河口（金沢市）	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
福井県	笙の川三島橋（敦賀市）											○	○			○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
山梨県	荒川千秋橋（甲府市）				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
長野県	千曲川屋敷橋（須坂市）	●	●	●																												
	諏訪湖湖心	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	木曾川三根橋（南木曾町）											○	○				○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
静岡県	清水港			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	天竜川（磐田市）																■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
愛知県	衣浦港																■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	名古屋港			○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
三重県	長良川河口（桑名市）		○																													
	四日市港			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	鳥羽港											○	○			○	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

表2-4 継続的調査の年度別調査地点の一覧（大気）

地方 公共団体	調査地点	年度																		
		'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18
北海道	上川保健福祉事務所（名寄市）					■		■												
	釧路市立春採中学校（釧路市）			■			■													
	北海道釧路総合振興局（釧路市）									■			■							
	北海道立総合研究機構環境科学研究センター（札幌市）	◎	◎																	
	北海道渡島総合振興局（函館市）				■			■			■			■			■			■
札幌市	北海道上川総合振興局（旭川市）										■			■				■		
	札幌芸術の森（札幌市）			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
岩手県	網張スキー場（雫石市）			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	菓子一般環境大気測定局（滝沢市）																	■	■	■
宮城県	宮城県保健環境センター（仙台市）				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	国設仙台測定局（仙台市）	◎		■																
	宮城県消防学校（仙台市）													■	■	■	■			
山形県	山形県環境科学研究センター（村山市）																	■	■	■
茨城県	茨城県環境監視センター（水戸市）			■	■	■	■	■												
	茨城県霞ヶ浦環境科学センター（土浦市）									■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
群馬県	群馬県衛生環境研究所（前橋市）			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
千葉県	市原松崎一般環境大気測定局（市原市）	◎	◎	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
東京都	東京都環境科学研究所（江東区）				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	東京都立衛生研究所（調査当時）（新宿区）				■															
	小笠原父島				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
神奈川県	神奈川環境科学センター（平塚市）	◎	◎	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
横浜市	旧横浜市環境科学研究所（横浜市）			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	横浜市環境科学研究所（横浜市）																	■	■	■
新潟県	大山一般環境大気測定局（新潟市）			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
富山県	砺波一般環境大気測定局（砺波市）			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
石川県	石川県保健環境センター（金沢市）	◎		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
山梨県	富士吉田合同庁舎（富士吉田市）			■	■	■	■	■	■	■	■									
	山梨県衛生環境研究所（甲府市）											■	■	■	■	■	■	■	■	■
長野県	長野県環境保全研究所（長野市）	◎	◎	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
岐阜県	岐阜県保健環境研究所（各務原市）			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
名古屋市	千種区平和公園（名古屋市）	◎	◎	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
三重県	三重県保健環境研究所（四日市市）	◎	◎	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
京都府	京都府立城陽高校（城陽市）	◎	◎	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
大阪府	地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所（大阪市）	◎	◎	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	大阪合同庁舎2号館別館（大阪市）																		■	■
兵庫県	兵庫県環境研究センター（神戸市）	◎	◎			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
神戸市	葦合一般環境大気測定局（神戸市）			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	神戸市役所（神戸市）																		■	■
奈良県	天理一般環境大気測定局（天理市）			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
島根県	国設隠岐酸性雨測定所（隠岐の島町）			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
広島市	広島市立国泰寺中学校（広島市）	◎	◎	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
山口県	山口県環境保健センター（山口市）	◎	◎	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	萩市役所見島支所（萩市）			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	萩市見島ふれあい交流センター（萩市）																			
	萩健康福祉センター（萩市）																		■	■
徳島県	徳島県保健環境センター（徳島市）			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	徳島県立保健製薬環境センター（徳島市）																		■	■
香川県	香川県高松合同庁舎（高松市）	◎		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	香川県立総合水泳プール（高松市）									■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
愛媛県	愛媛県南予地方局（宇和島市）			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
福岡県	大牟田市役所（大牟田市）	◎	◎	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
北九州市	北九州観測所（北九州市）	◎																		
佐賀県	佐賀県環境センター（佐賀市）	◎		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
長崎県	長崎県庁（長崎市）	◎	◎																	
	小ヶ倉支所測定局（長崎市）			◎																
	北消防署測定局（長崎市）			◎																
熊本県	熊本県保健環境科学研究所（宇土市）			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
宮崎県	宮崎県衛生環境研究所（宮崎県）			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
鹿児島県	鹿児島県環境保健センター（鹿児島市）					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
沖縄県	辺野古岬（国頭村）			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

(注1) ◎：非意図的生成化学物質汚染実態追跡調査において実施したことを意味する。

(注2) ■：モニタリング調査において実施したことを意味する。

(注3) 「地方公共団体」は、試料採取を実施した地方公共団体の名称であり、複数年度実施している地点にあっては直近の年度に試料採取を実施した地方公共団体の名称を示した。

(注4) □は非意図的生成化学物質汚染実態追跡調査及びモニタリング調査を継続して実施している地点を意味する。

表3 2001年度以前の継続的調査と2002年度以降のモニタリング調査の継続調査2015地点における検出頻度の比較

物質 調査 番号	調査対象物質	水質																		
		1998	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	
[1]	総PCB	10/10	14/14	14/14	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	13/15	15/15	14/14	13/13	13/13	14/14	14/14	14/14	14/14
[2]	HCB	0/15	14/14	14/14	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	12/15	15/15	14/14	13/13	13/13	14/14	14/14	14/14	14/14	
[4]	ディルドリン (参考)	0/15	14/14	14/14	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	---	15/15	---	---	13/13	---	---	---	---	
[6]	DDT類 (参考)																			
	[6-1] p,p'-DDT (参考)	0/15	14/14	14/14	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	---	---	---	13/13	---	---	---	---	
	[6-2] p,p'-DDE (参考)	0/15	14/14	14/14	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	---	---	---	13/13	---	---	---	---	
	[6-3] p,p'-DDD (参考)	0/15	14/14	14/14	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	---	---	---	13/13	---	---	---	---	
[7]	クロルデン類 (参考)																			
	[7-1] cis-クロルデン (参考)	0/15	14/14	14/14	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	14/15	15/15	14/14	13/13	---	---	---	---	---	
	[7-2] trans-クロルデン (参考)	0/15	14/14	14/14	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	13/15	15/15	14/14	13/13	---	---	---	---	---	
	[7-4] cis-ノナクロル (参考)	0/15	14/14	14/14	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	14/14	13/13	---	---	---	---	---	
	[7-5] trans-ノナクロル (参考)	0/15	14/14	14/14	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	13/15	15/15	14/14	13/13	---	---	---	---	---	
[11]	HCH類																			
	[11-1] α -HCH (参考)	0/15	14/14	14/14	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	14/14	13/13	13/13	14/14	14/14	14/14	---	
	[11-2] β -HCH (参考)	0/15	14/14	14/14	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	15/15	14/14	13/13	13/13	14/14	14/14	14/14	---	

物質 調査 番号	調査対象物質	底質																	
		2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
[1]	総PCB	24/24	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	16/16	15/15	15/15	16/16	16/16	16/16	15/16
[2]	HCB	3/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	16/16	15/15	14/15	16/16	16/16	16/16	16/16
[4]	ディルドリン (参考)	1/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	16/17	17/17	17/17	---	17/17	---	---	---	---	---	---	16/16
[6]	DDT類 (参考)																		
	[6-1] p,p'-DDT (参考)	2/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	---	---	---	15/15	---	---	---
	[6-2] p,p'-DDE (参考)	7/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	---	---	---	15/15	---	---	---
	[6-3] p,p'-DDD (参考)	5/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	---	---	---	15/15	---	---	---
[7]	クロルデン類 (参考)																		
	[7-1] cis-クロルデン (参考)	3/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	16/16	15/15	---	---	---	---	---
	[7-2] trans-クロルデン (参考)	5/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	16/16	15/15	---	---	---	---	---
	[7-4] cis-ノナクロル (参考)	3/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	16/16	15/15	---	---	---	---	---
	[7-5] trans-ノナクロル (参考)	4/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	16/16	15/15	---	---	---	---	---
[11]	HCH類																		
	[11-1] α -HCH	1/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	16/16	15/15	15/15	16/16	16/16	16/16	---
	[11-2] β -HCH	3/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	16/16	15/15	15/15	16/16	16/16	16/16	---

物質 調査 番号	調査対象物質	生物																	
		2000	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
[1]	総PCB	3/3	16/16	16/16	16/16	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	16/16	12/12	16/16	14/14	13/13	12/12	13/13	13/13	13/13
[2]	HCB	3/17	16/16	16/16	16/16	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	16/16	12/12	16/16	13/14	13/13	12/12	13/13	13/13	13/13
[4]	ディルドリン (参考)	4/17	16/16	16/16	16/16	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	---	12/12	---	---	13/13	---	---	---	---
[6]	DDT類 (参考)																		
	[6-1] p,p'-DDT	3/17	16/16	16/16	16/16	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	15/16	---	---	14/14	---	---	---	---	13/13
	[6-2] p,p'-DDE	12/17	16/16	16/16	16/16	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	16/16	---	---	14/14	---	---	---	---	13/13
	[6-3] p,p'-DDD	6/17	16/16	16/16	16/16	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	16/16	---	---	13/14	---	---	---	---	13/13
	[6-4] o,p'-DDT	1/17	16/16	16/16	16/16	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	14/16	---	---	14/14	---	---	---	---	13/13
	[6-5] o,p'-DDE	1/17	16/16	16/16	15/16	17/17	17/17	17/17	16/17	17/17	15/16	---	---	14/14	---	---	---	---	12/13
	[6-6] o,p'-DDD	2/17	16/16	16/16	16/16	17/17	17/17	17/17	16/17	17/17	16/16	---	---	14/14	---	---	---	---	12/13
[7]	クロルデン類																		
	[7-1] cis-クロルデン	7/17	16/16	16/16	16/16	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	16/16	12/12	16/16	14/14	---	---	13/13	13/13	---
	[7-2] trans-クロルデン	5/17	16/16	16/16	15/16	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	16/16	12/12	16/16	14/14	---	---	13/13	13/13	---
	[7-3] オキシクロルデン	3/17	16/16	16/16	16/16	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	16/16	12/12	16/16	14/14	---	---	13/13	13/13	---
	[7-4] cis-ノナクロル	4/17	16/16	16/16	16/16	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	16/16	12/12	16/16	14/14	---	---	13/13	13/13	---
	[7-5] trans-ノナクロル	9/17	16/16	16/16	16/16	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	16/16	12/12	16/16	14/14	---	---	13/13	13/13	---
[11]	HCH類																		
	[11-1] α -HCH	1/17	16/16	16/16	16/16	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	16/16	12/12	15/16	14/14	14/14	9/12	12/13	12/13	---
	[11-2] β -HCH	4/17	16/16	16/16	16/16	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	16/16	12/12	16/16	14/14	14/14	12/12	13/13	13/13	---

物質 調査 番号	調査対象物質	大気																	
		2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
[1]	総PCB	10/10	10/10	10/10	10/10	10/10	10/10	8/8	9/9	10/10	10/10	10/10	10/10	9/9	9/9	9/9	8/8	8/8	8/8

(注1) 「---」は2001年度以前からの継続調査地点なし又は調査対象外であることを意味する。
(注2) 水質については、1999年度から2001年度に継続的調査が行われなかったため、1998年度の値と比較することとした。
(注3) 生物については、2001年度に継続調査地点の一つが調査されていないため、2000年度調査の値と比較することとした。
(注4) 2001年度以前から調査が実施されており、比較可能な調査対象物質についてのみ記載した。
(注5) 継続調査地点における検出頻度の比較ができない調査対象物質については記載しなかった。
(注6) 継続地点とは、表2-1から表2-4に示した地点のうち調査実施状況の欄を で強調した地点を意味する。

2001年度以前の調査結果を含めた評価を行うに当たっては以下の点を考慮する必要がある。

・総PCB

2001年度以前に実施してきた総PCBの継続的調査としては、水質、底質及び大気については「非意図的生成化学物質汚染実態追跡調査」、生物（貝類、魚類及び鳥類）については「生物モニタリング」が該当する。これらの調査における総PCBの調査実績は、水質及び大気は2000年度及び2001年度の2年間、底質は1996年度、1997年度、2000年度及び2001年度の4年間、生物は1978年度から2001年度までの24年間である。したがって、生物については経年推移を評価するのに十分な期間にわたっての調査が実施されているといえる。

総PCBの調査地点については、水質及び底質の2002年度以降の調査地点は2001年度以前の調査地点を一部引き継いでいるものの、少なくない地点が入れ替わっている。このため、これらの媒体では2002年度以降と2001年度以前の残留状況の傾向を経年的に評価する場合には考慮を要する。生物では2001年度以前の調査地点・生物種の多くが2002年度以降にも引き継がれたが、2002年度に2地点・生物種（釧路沖のオオサガ及び祝言島地先のスズキ）が減り、2003年度に1地点・生物種（三浦半島のムラサキイガイ）が減ったものの、2005年度に1地点・生物種（釧路沖のシロサケ）の調査が、2008年度にも1地点・生物種（大分川のスズキ）の調査がそれぞれ再開された。経年的に評価する場合には、この点に留意する必要がある。大気の2002年度以降の調査地点は、水質及び底質と同様、2001年度以前の調査地点を一部引き継いでいるものの、少なくない地点が入れ替わっている。このため、これらの媒体では2002年度以降と2001年度以前の残留状況の傾向を経年的に評価する場合には考慮を要する。また、大気では2007年度の温暖期及び寒冷期並びに2008年度の温暖期にそれぞれ3分の1程度の地点で欠測となっており、経年的に評価する場合には、この点に留意する必要がある。

総PCBの検出下限値については、水質、底質、生物（「生物モニタリング」に係るものを除く。）及び大気ともに2001年度以前の値は、2002年度以降の値とほぼ同等であるため経年的な評価に当たり支障はない。一方、「生物モニタリング」に係る検出下限値は、2002年度以降の検出下限値に比べて到底及ぶレベルではなく、検出頻度や幾何平均値（検出下限値未満の値は検出下限値の1/2として計算）により残留状況の傾向を経年的に評価する場合には考慮を要する。また、検出下限値未満の検体が多いことから、中央値、70%値、80%値等で推移を見ることも困難である。

・総PCB以外のPOPs

2001年度以前に実施してきた継続的調査としては、水質及び底質については、「水質・底質モニタリング」（1999年度～2001年度は「底質モニタリング」）、生物（貝類、魚類及び鳥類）については「生物モニタリング」が該当する。大気について継続的調査は実施していなかった。また、ヘプタクロル類については、全媒体において2001年度以前に継続的調査を実施していない。なお、2002年度以降においても、大気のHCH類は2002年度の調査では対象外であった。

総PCB以外のPOPs及びHCH類における2001年度以前の調査実績として、水質及び底質ではHCB、ディルドリン、*p,p'*-DDT、*p,p'*-DDE、*p,p'*-DDD、*cis*-クロルデン、*trans*-クロルデン、*cis*-ノナクロル、*trans*-ノナクロル、 α -HCH及び β -HCHについて1986年度から1998年度までの13年間（底質は1986年度から2001年度までの16年間）モニタリングを実施した。オキシクロルデンについては1986年度及び1987年度の2年間のみ実施

し、その他の物質（アルドリン、エンドリン、*o,p'*-DDT、*o,p'*-DDE、*o,p'*-DDD、ヘプタクロル類、トキサフエン類、マイレックス、 γ -HCH（別名：リンデン）及び δ -HCH）については水質及び底質の継続的調査は実施していなかった。生物は、アルドリン、エンドリン、 γ -HCH（別名：リンデン）及び δ -HCHについては1978年度から開始されたものの2001年度よりも前に中断され、その他の物質（ヘプタクロル類、トキサフエン類及びマイレックスを除く。）については昭和50年代から2001年度まで継続的調査を実施した（調査開始年度は物質により異なる。また1997度及び1999年度には調査を実施していない物質がある。詳細は表4を参照のこと。）。

以上より、継続的調査を実施していない物質（ヘプタクロル等）及び媒体（大気等）については2001年度以前からの経年的な残留状況の傾向を判断できないほか、オキシクロルデンの水質及び底質、アルドリン、エンドリン、 γ -HCH（別名：リンデン）及び δ -HCHの生物については、過去の調査実施から間隔が開いたため2001年度以前からの経年的な残留状況の傾向を評価する場合には考慮を要する。

総PCB以外のPOPs及びHCH類の調査地点については、水質及び底質の2002年度以降の調査地点は2001年度以前にはなかったものが大幅に追加されている。このため、これらの媒体では2002年度以降と2001年度以前の残留状況の傾向を経年的に評価する場合には考慮を要する。生物では総PCBと同様、2001年度以前の調査地点・生物種の多くが2002年度以降に引き継がれたが2002年度以降、いくつかの調査地点・生物種に変更があり、経年的に評価する場合には、この点に留意する必要がある。大気では総PCBと同様、HCBが2007年度の温暖期及び寒冷期並びに2008年度の温暖期にそれぞれ3分の1程度の地点で欠測となっており、経年的に評価する場合には、この点に留意する必要がある。

総PCB以外のPOPs及びHCH類の検出下限値については、2002年度以降の値は2001年度以前の値と比較して、水質では一万分の一程度に、底質及び生物では一千分の一程度に下がっている。これに伴い検出数が大幅に増えており、検出頻度や幾何平均値（検出下限値未満の値は検出下限値の1/2として計算）により残留状況の傾向を評価する場合には考慮を要する。生物についても、2001年度以前は検出下限値未満の検体が多く、中央値、70%値、80%値等での推移を見ることも困難である。

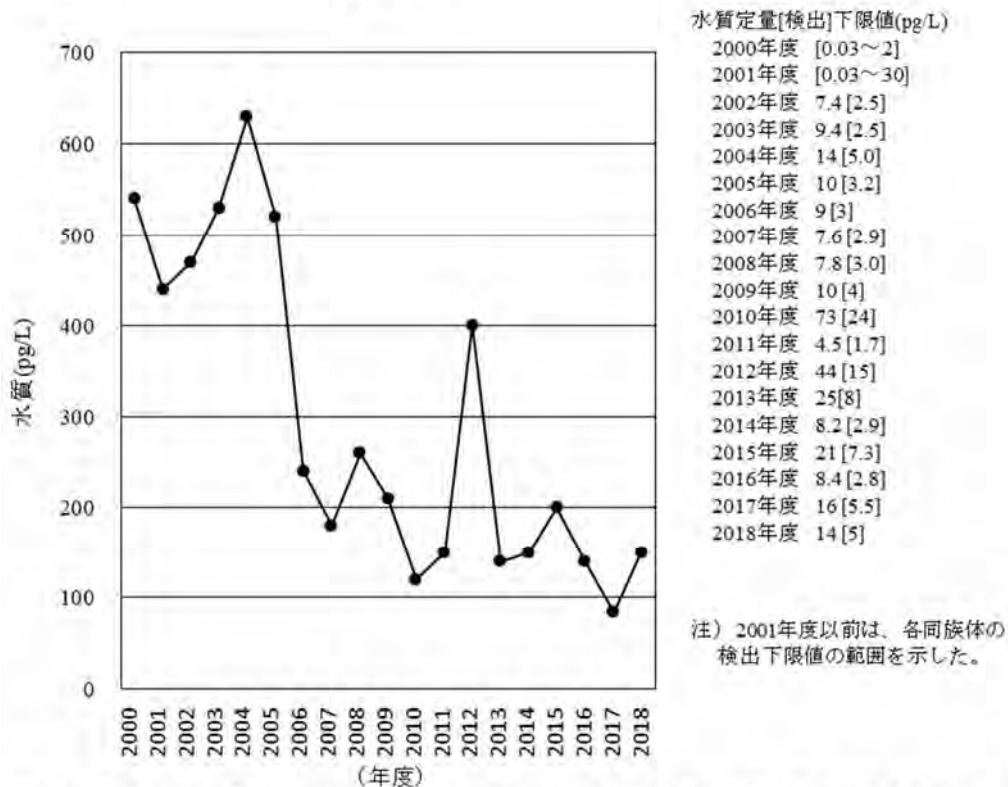
モニタリング調査は長期にわたり実施されてきており、その間に調査地点、分析法、生物種等の変更が行われている。そのため、調査開始当初と最近の調査結果をそのまま比較可能な値として扱うことは困難であるが、共通の調査地点及び分析法が同一である期間ごとにみれば継続性をもって評価を行うことができると考えられる。

特に水質のHCB、ディルドリン、*p,p'*-DDT、*p,p'*-DDE、*p,p'*-DDD、*cis*-クロルデン、*trans*-クロルデン、オキシクロルデン、*cis*-ノナクロル、*trans*-ノナクロル、 α -HCH、 β -HCHについては、2001年度以前に調査実績はあるものの、検出下限値が高い（10,000pg/L）ため検出頻度が低いことに留意が必要である。

2001年度以前からの継続的調査実施物質の経年変化は、図1から図7に示すとおりである。

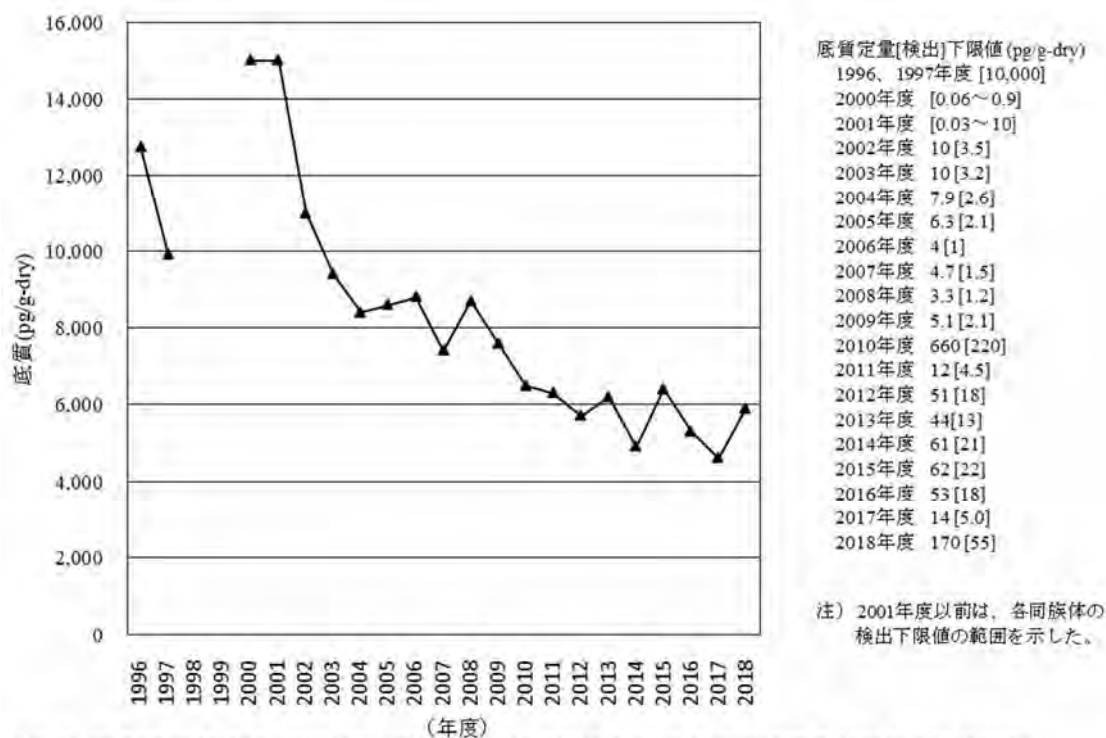
・2001年度以前からの継続的調査実施物質の経年変化

[1] PCB類



(注1) 総 PCB の水質については、継続的調査において 1999 年度以前に調査が実施されていない。
 (注2) 2002 年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。

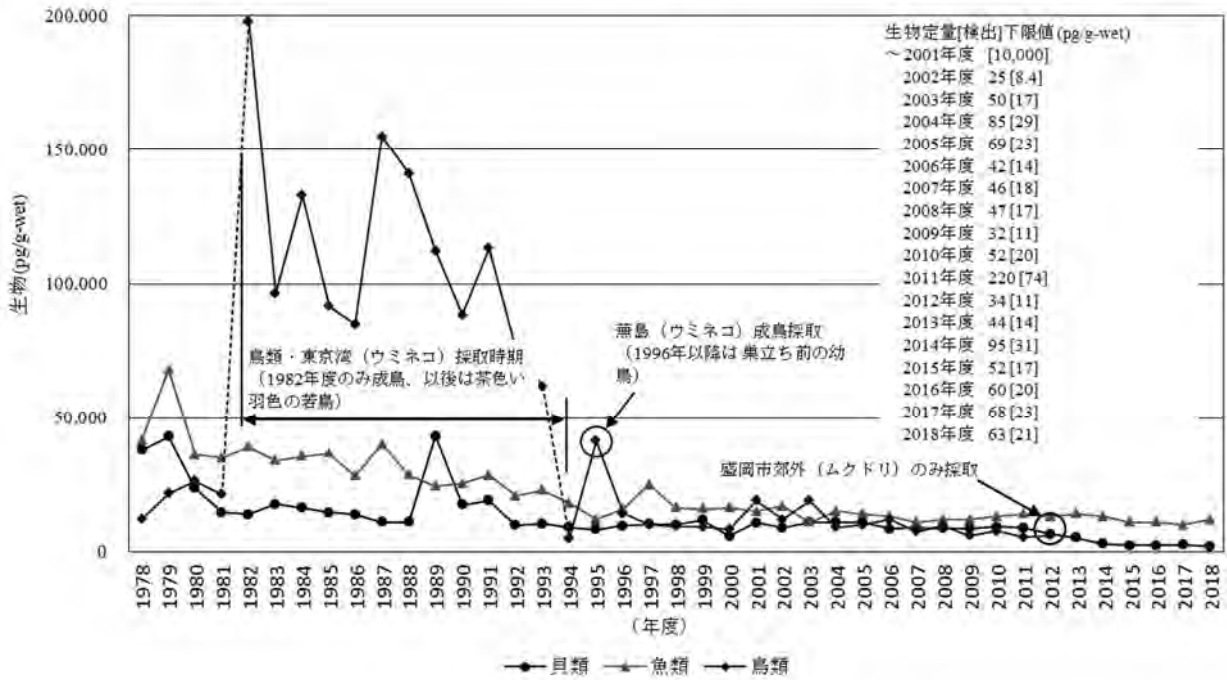
図 1-1 総 PCB の水質の経年変化 (幾何平均値)
 [1] PCB類



(注1) 総 PCB の底質については、継続的調査において 1995 年度以前に調査が実施されていない。
 (注2) 2002 年度から 2009 年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。

図 1-2 総 PCB の底質の経年変化 (幾何平均値)

[1] PCB類



(注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。

(注2) 鳥類は2013年度に調査地点及び調査対象生物を変更したことから、2012年度までの結果と2013年度以降の結果に継続性がないため、2013年度以降の結果を示していない。

図 1-3 総 PCB の生物の経年変化 (幾何平均値)

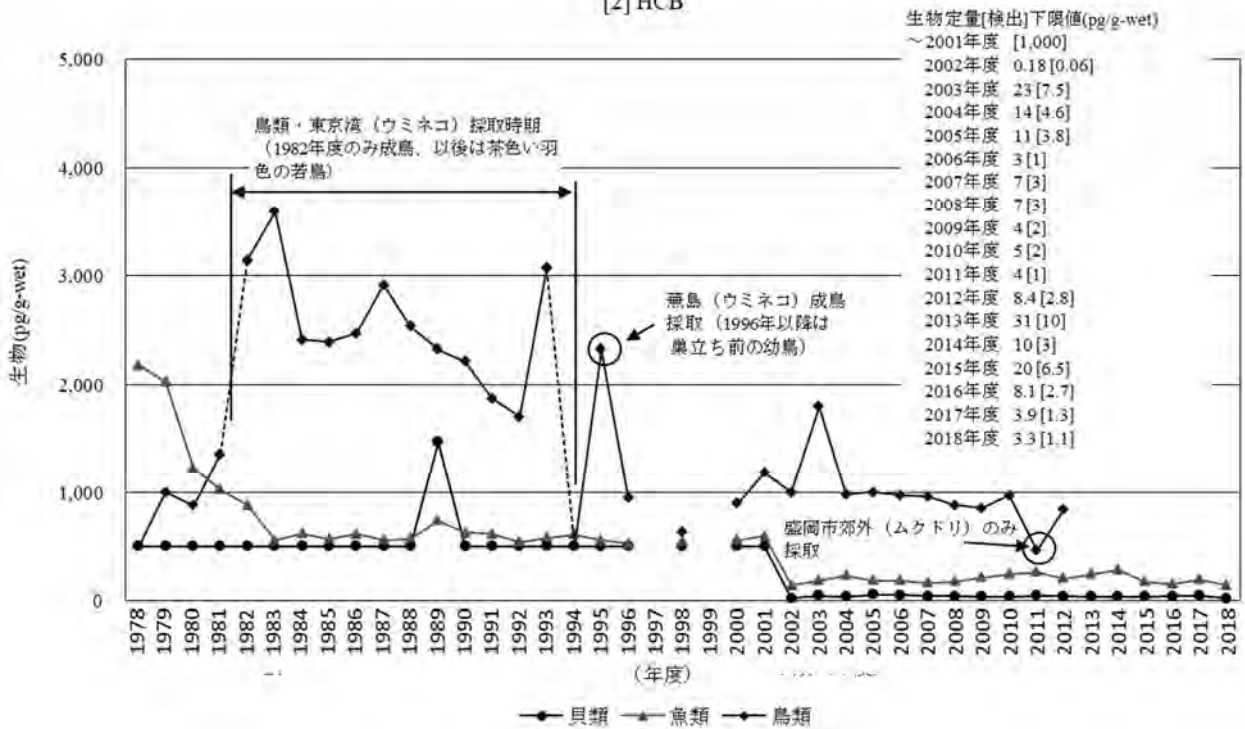
[2] HCB



(注) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。

図 2-1 HCB の底質の経年変化 (幾何平均値)

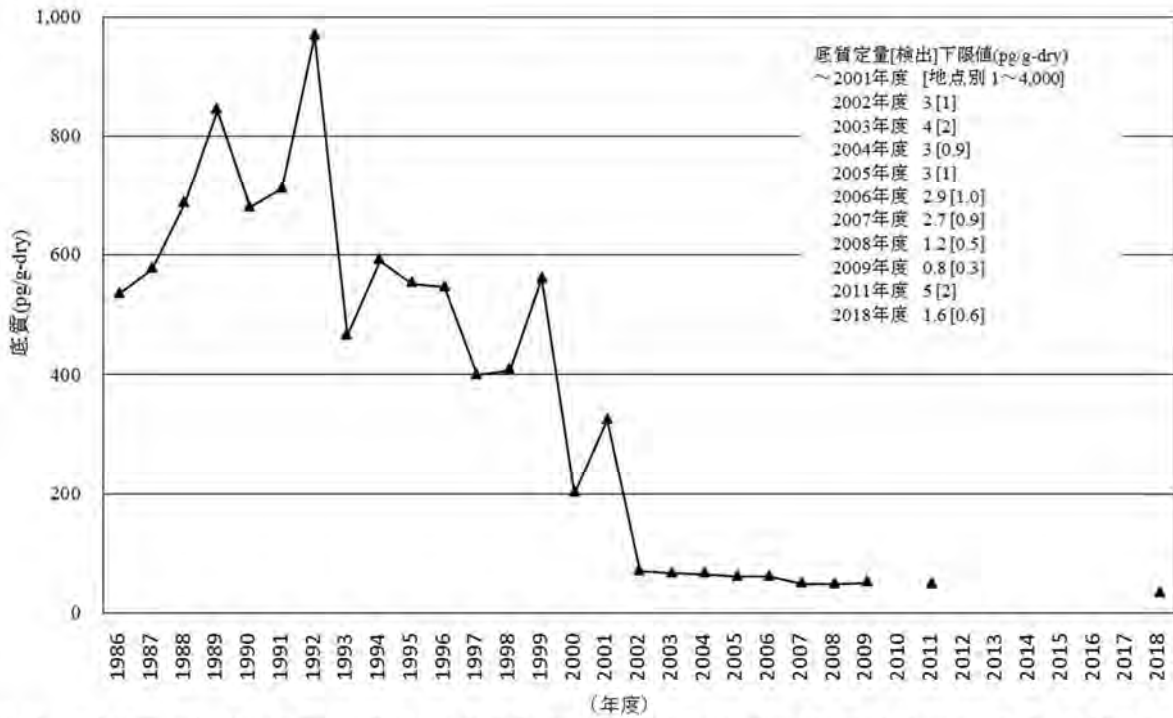
[2] HCB



- (注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。
- (注2) 鳥類は2013年度に調査地点及び調査対象生物を変更したことから、2012年度までの結果と2013年度以降の結果に継続性がないため、2013年度以降の結果を示していない。

図 2-2 HCB の生物の経年変化 (幾何平均値)

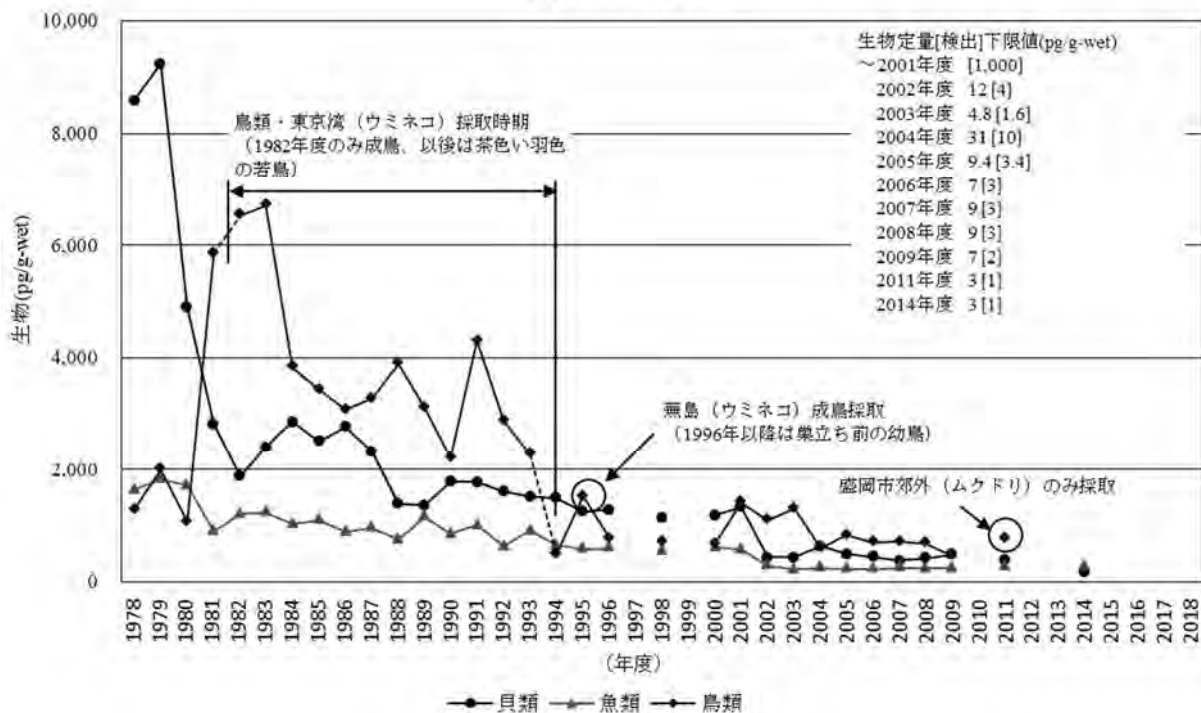
[4] デイルドリン



- (注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。
- (注2) 2010年度及び2012年度から2017年度は調査を実施していない。

図 3-1 デイルドリンの底質の経年変化 (幾何平均値)

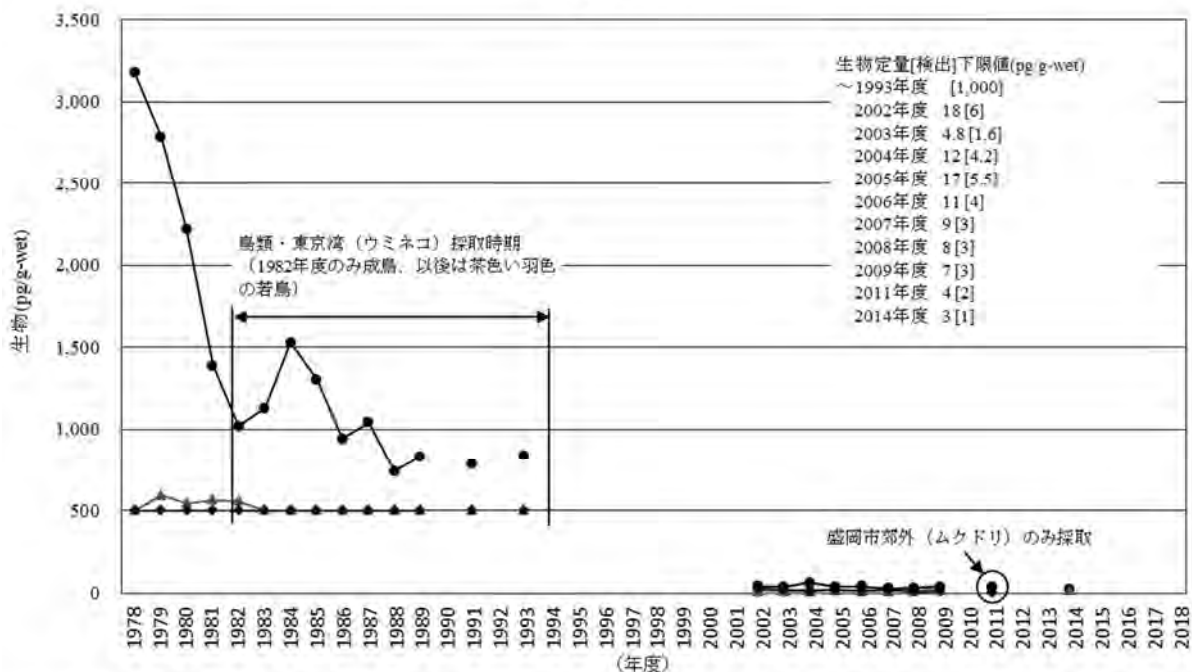
[4] デイルドリン



- (注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。
- (注2) 鳥類は2014年度に調査地点及び調査対象生物を変更したことから、2011年度までの結果と2014年度の結果に連続性がないため、2014年度の結果を示していない。
- (注3) 2010年度、2012年度、2013年度、2015年度から2017年度は調査を実施していない。

図3-2 デイルドリンの生物の経年変化（幾何平均値）（参考）

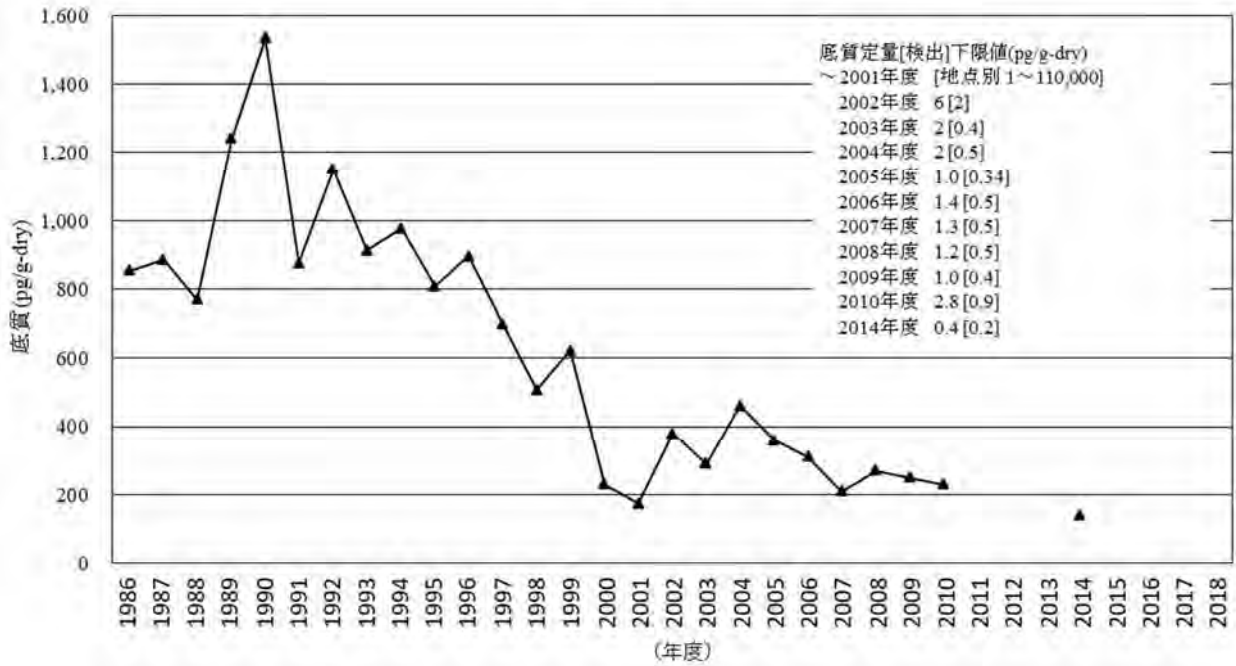
[5] エンドリン



- (注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。
- (注2) 鳥類は2014年度に調査地点及び調査対象生物を変更したことから、2011年度までの結果と2014年度の結果に連続性がないため、2014年度の結果を示していない。
- (注3) 2010年度、2012年度、2013年度、2015年度から2017年度は調査を実施していない。

図4 エンドリンの生物の経年変化（幾何平均値）（参考）

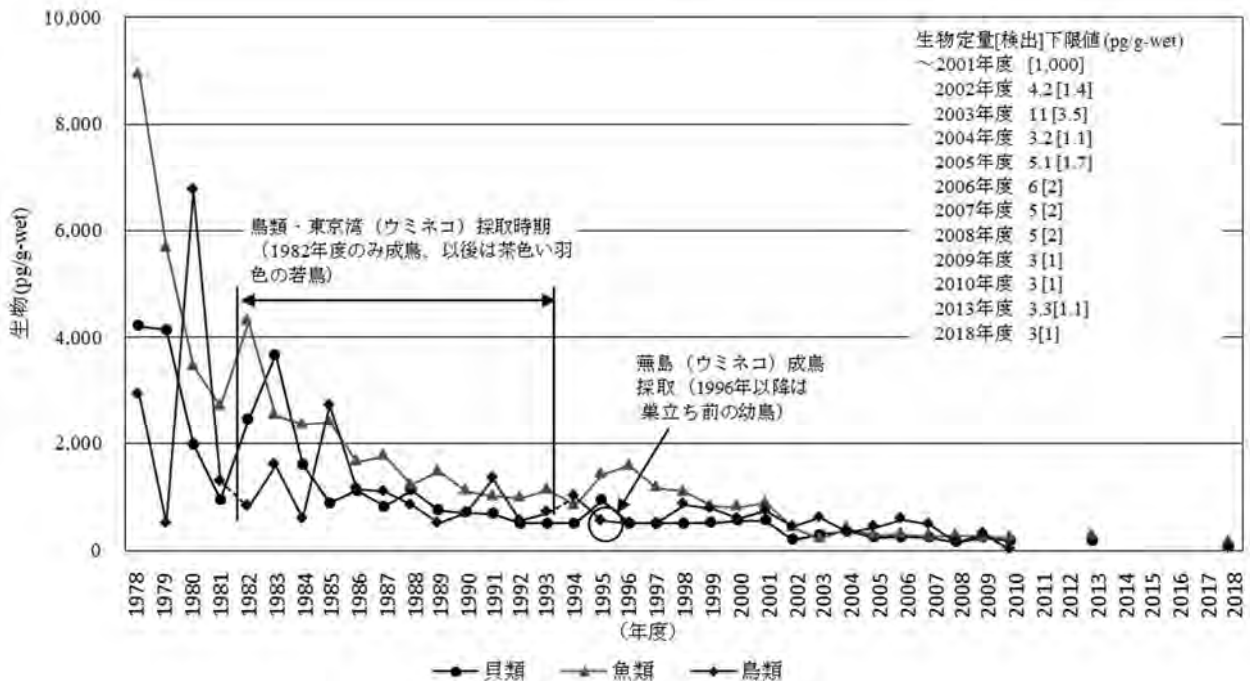
[6-1] p,p' -DDT



- (注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。
 (注2) 2011年度から2013年度、2015年度から2017年度は調査を実施していない。

図5-1-1 p,p' -DDTの底質の経年変化（幾何平均値）（参考）

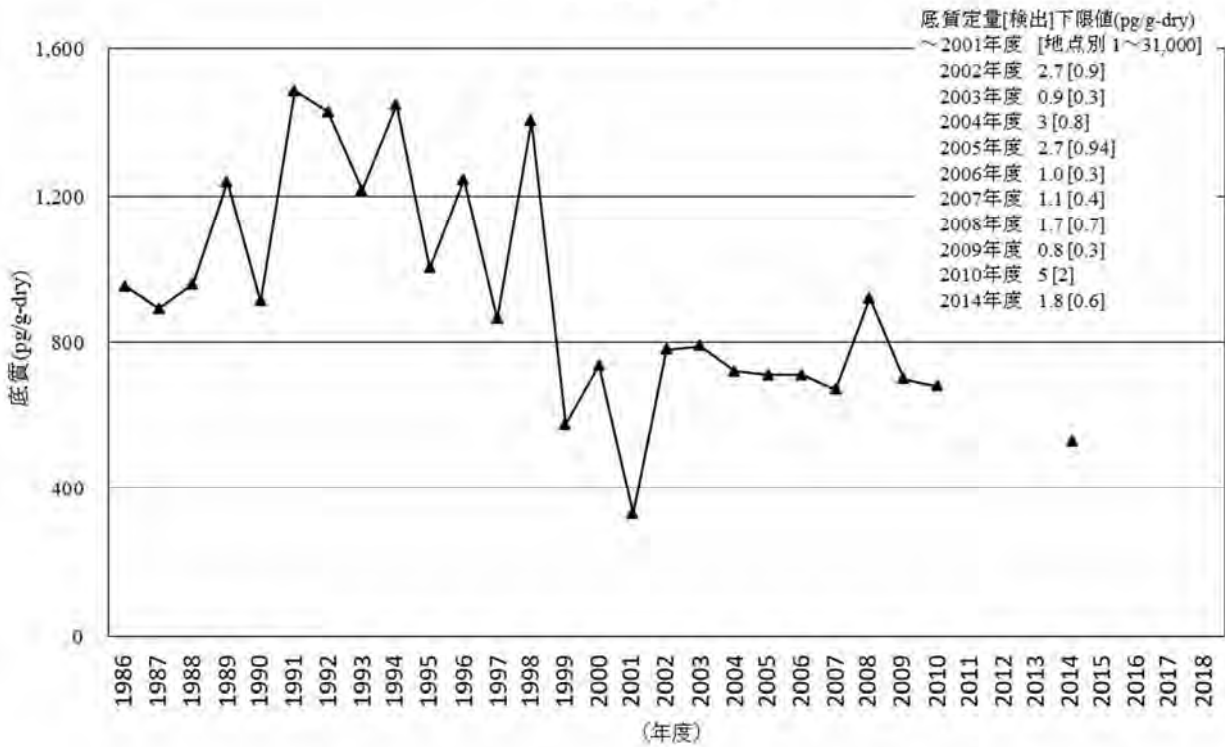
[6-1] p,p' -DDT



- (注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。
 (注2) 鳥類は2013年度に調査地点及び調査対象生物を変更したことから、2010年度までの結果と2013年度の結果に連続性がないため、2013年度の結果を示していない。
 (注3) 2011年度及び2012年度及び2014年度から2017年度は調査を実施していない。

図5-1-2 p,p' -DDTの生物の経年変化（幾何平均値）

[6-2] *p,p'*-DDE

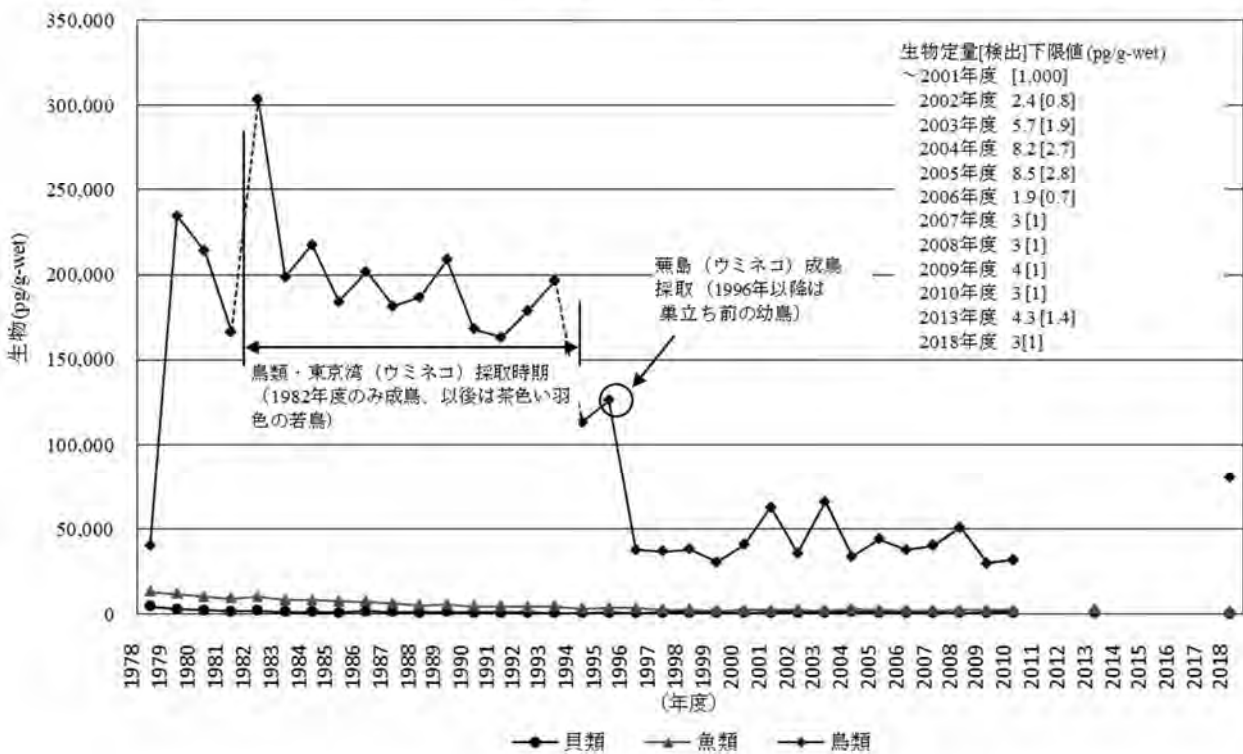


(注) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。

(注) 2011年度から2013年度、2015年度から2017年度は調査を実施していない。

図 5-2-1 *p,p'*-DDE の底質の経年変化 (幾何平均値) (参考)

[6-2] *p,p'*-DDE



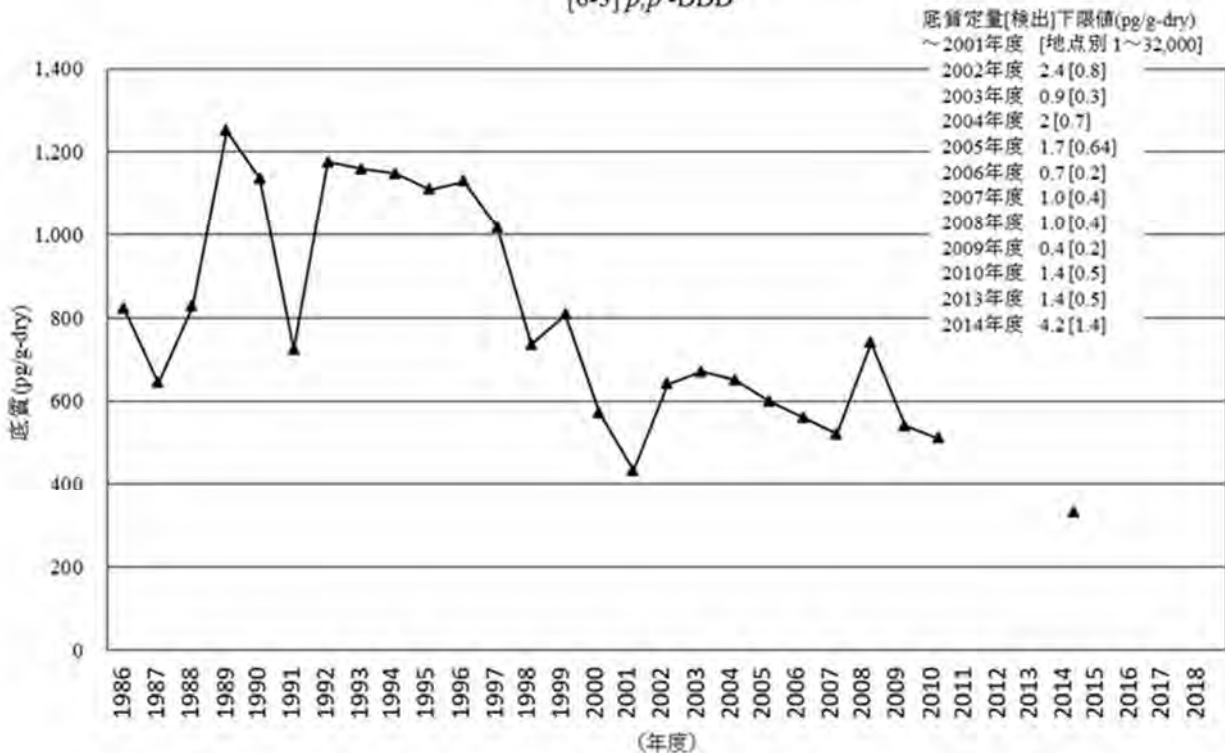
(注 1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。

(注 2) 鳥類は2013年度に調査地点及び調査対象生物を変更したことから、2010年度までの結果と2013年度の結果に継続性がないため、2013年度の結果を示していない。

(注 3) 2011年度、2012年度及び2014年度から2017年度は調査を実施していない。

図 5-2-2 *p,p'*-DDE の生物の経年変化 (幾何平均値)

[6-3] p,p'-DDD

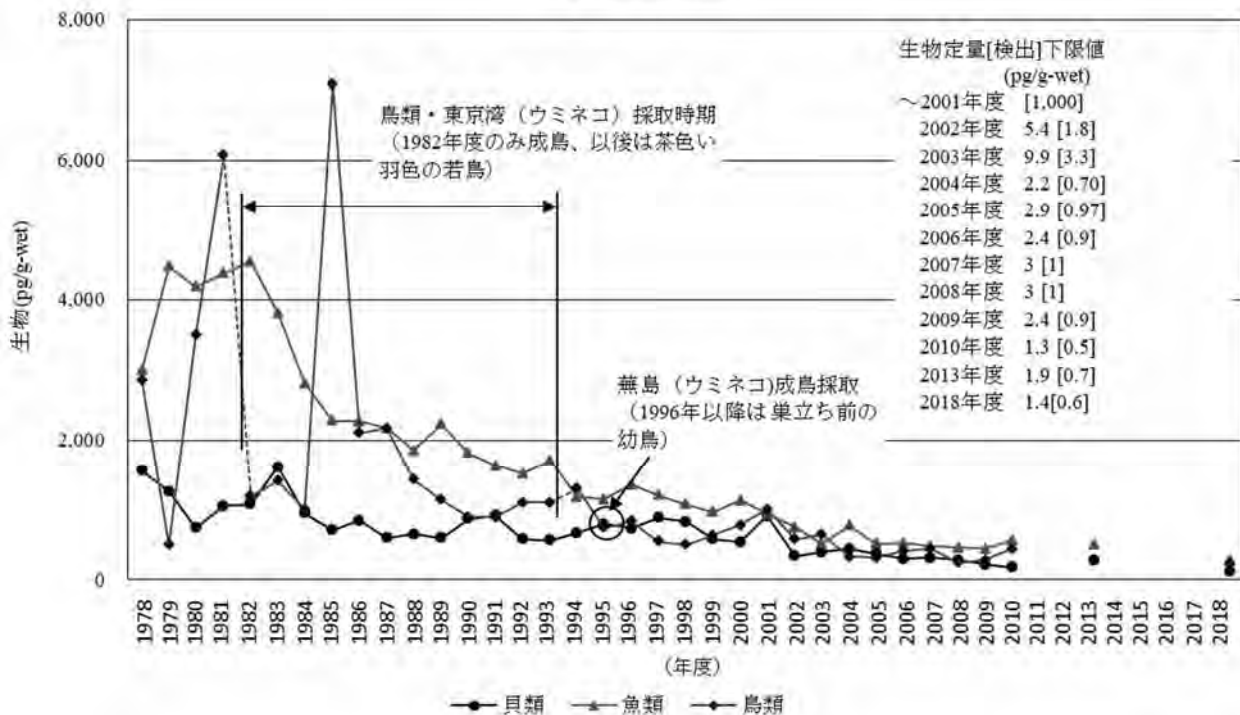


(注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。

(注2) 2011年度から2013年度、2015年度から2017年度は調査を実施していない。

図 5-3-1 p,p'-DDD の底質の経年変化 (幾何平均値) (参考)

[6-3] p,p'-DDD

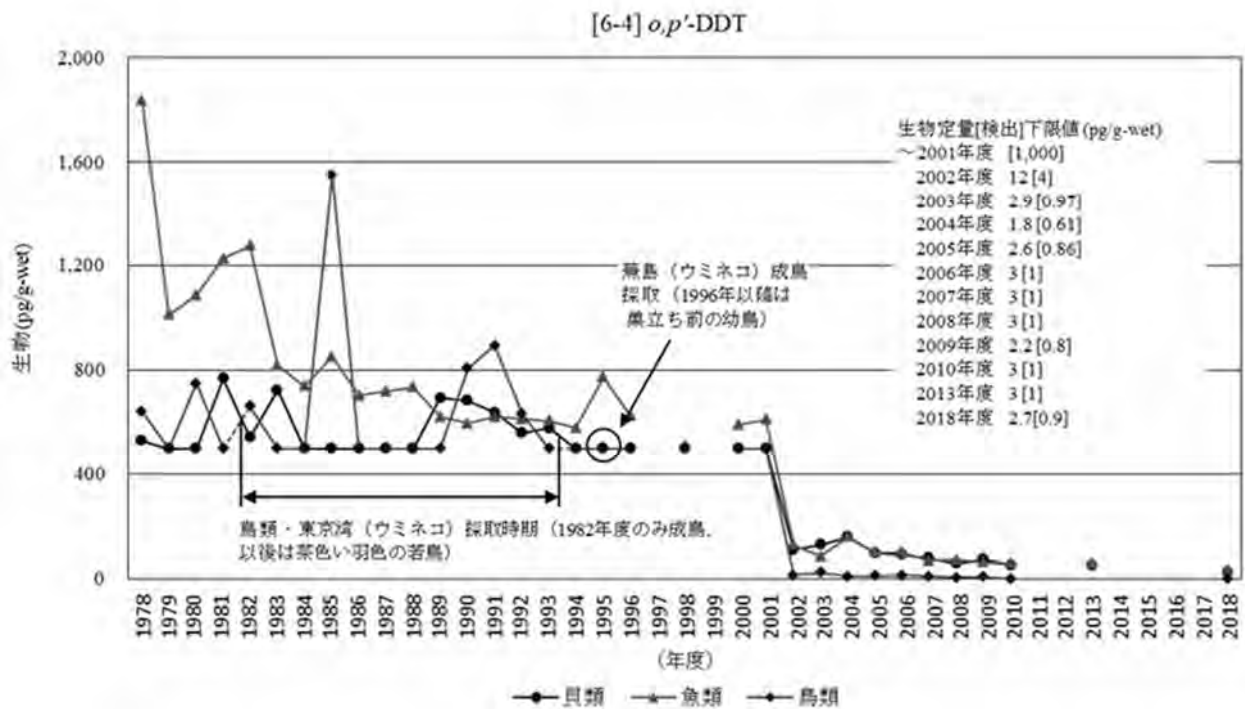


(注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。

(注2) 鳥類は2013年度に調査地点及び調査対象生物を変更したことから、2010年度までの結果と2013年度の結果に連続性がないため、2013年度の結果を示していない。

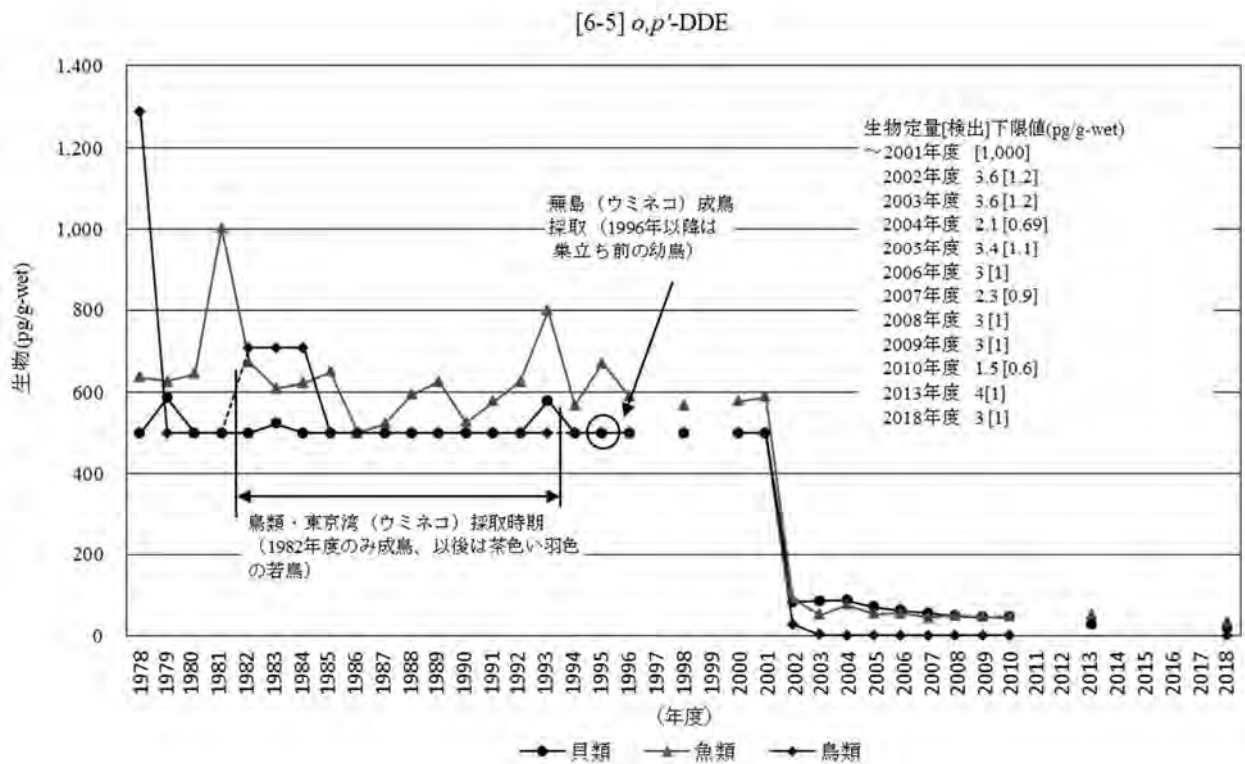
(注3) 2011年度、2012年度及び2014年度から2017年度は調査を実施していない。

図 5-3-2 p,p'-DDD の生物の経年変化 (幾何平均値)



- (注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。
- (注2) 鳥類は2013年度に調査地点及び調査対象生物を変更したことから、2010年度までの結果と2013年度の結果に継続性がないため、2013年度の結果を示していない。
- (注3) 2011年度、2012年度及び2014年度から2017年度は調査を実施していない。

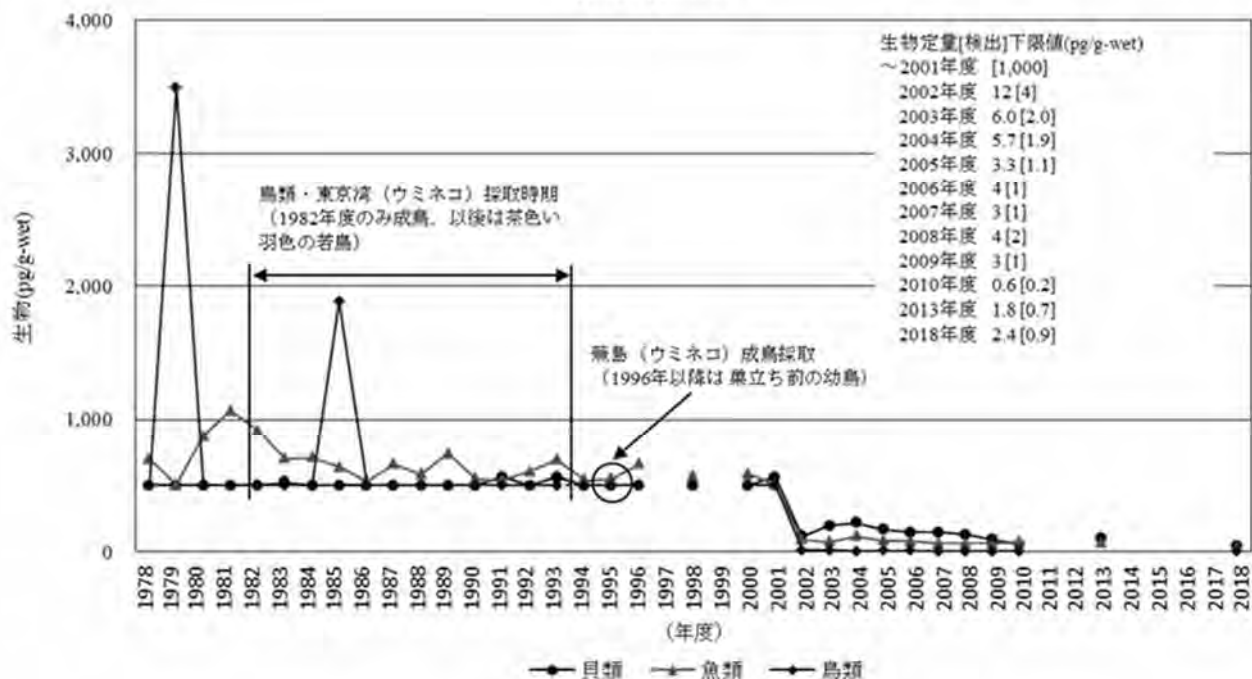
図 5-4 *o,p'*-DDT の生物の経年変化 (幾何平均値)



- (注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。
- (注2) 鳥類は2013年度に調査地点及び調査対象生物を変更したことから、2010年度までの結果と2013年度の結果に継続性がないため、2013年度の結果を示していない。
- (注3) 2011年度、2012年度及び2014年度から2017年度は調査を実施していない。

図 5-5 *o,p'*-DDE の生物の経年変化 (幾何平均値)

[6-6] *o,p'*-DDD



- (注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。
- (注2) 鳥類は2013年度に調査地点及び調査対象生物を変更したことから、2010年度までの結果と2013年度の結果に連続性がないため、2013年度の結果を示していない。
- (注3) 2011年度、2012年度及び2014年度から2017年度は調査を実施していない。

図 5-6 *o,p'*-DDD の生物の経年変化 (幾何平均値)

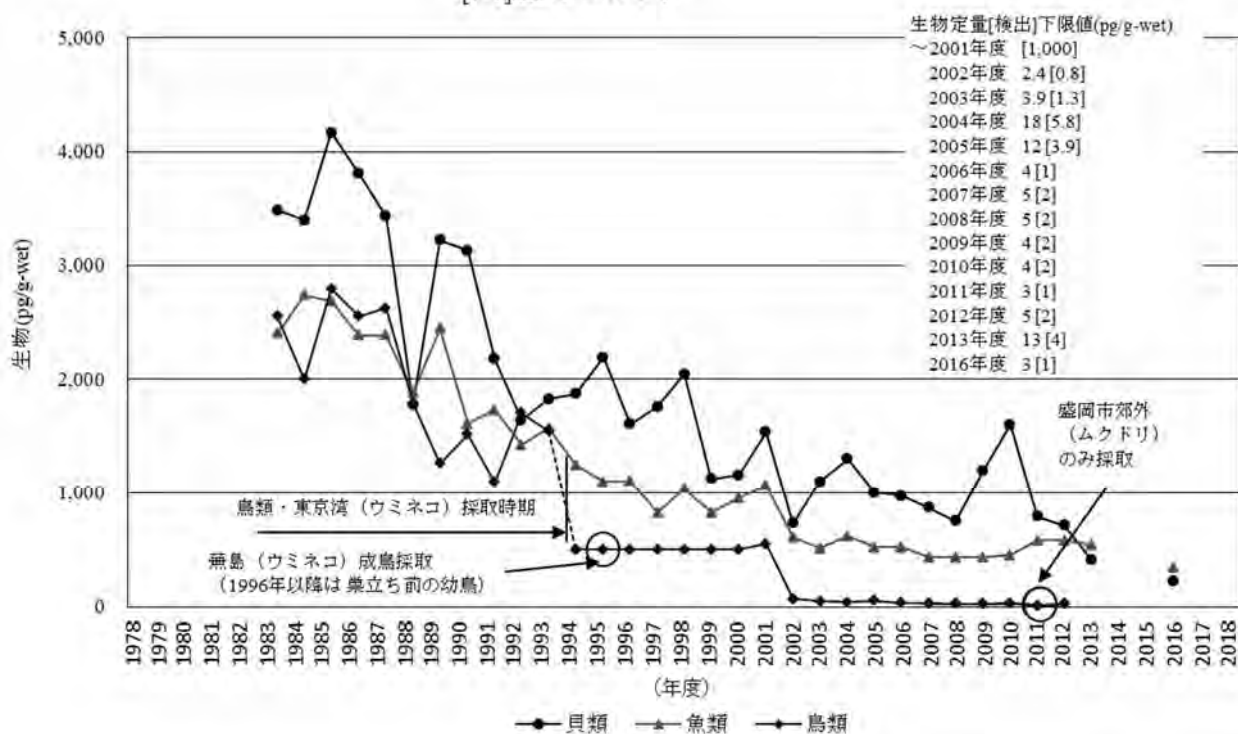
[7-1] *cis*-クロルデン



- (注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。
- (注2) 2014年度から2016年度は調査を実施していない。

図 6-1-1 *cis*-クロルデンの底質の経年変化 (幾何平均値) (参考)

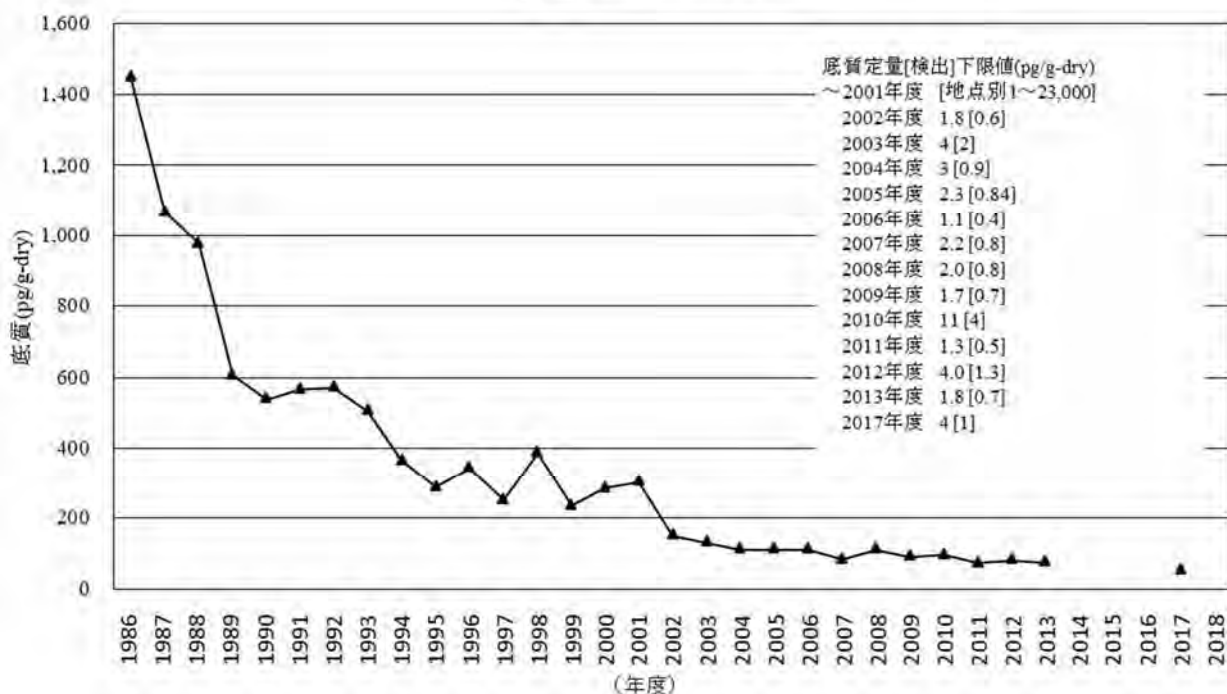
[7-1] *cis*-クロルデン



- (注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。
- (注2) 鳥類は2013年度に調査地点及び調査対象生物を変更したことから、2012年度までの結果と2013年度以降の結果に連続性がないため、2013年度以降の結果を示していない。
- (注3) 2014年度、2015年度及び2017年度は調査を実施していない。

図 6-1-2 *cis*-クロルデンの生物の経年変化 (幾何平均値) (参考)

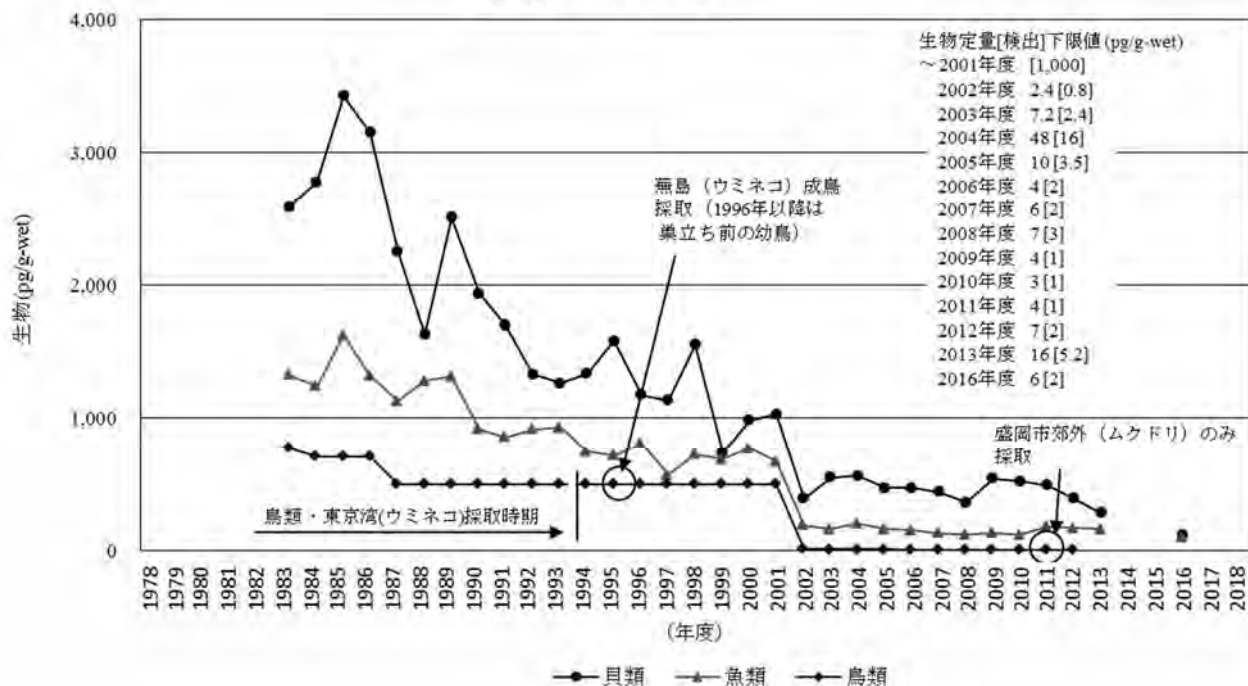
[7-2] *trans*-クロルデン



- (注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。
- (注2) 2014年度から2016年度は調査を実施していない。

図 6-2-1 *trans*-クロルデンの底質の経年変化 (幾何平均値) (参考)

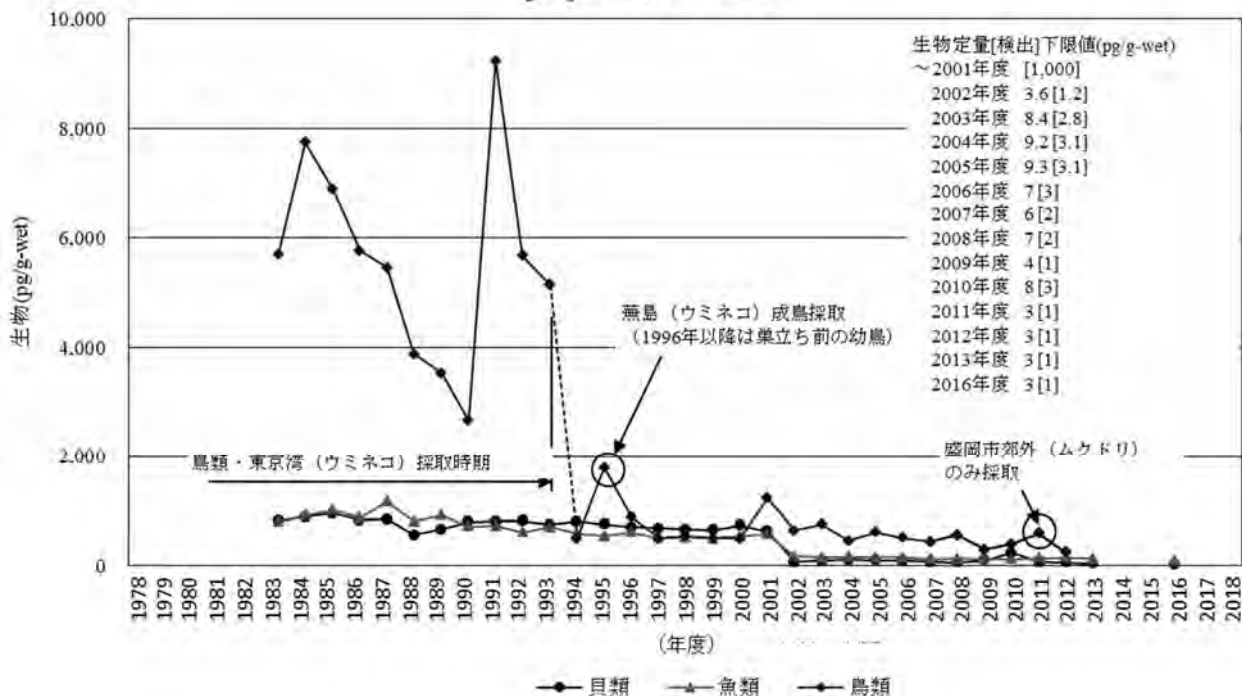
[7-2] trans-クロルデン



- (注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。
- (注2) 鳥類は2013年度に調査地点及び調査対象生物を変更したことから、2012年度までの結果と2013年度以降の結果に連続性がないため、2013年度以降の結果を示していない。
- (注3) 2014年度、2015年度及び2017年度は調査を実施していない。

図 6-2-2 trans-クロルデンの生物の経年変化 (幾何平均値) (参考)

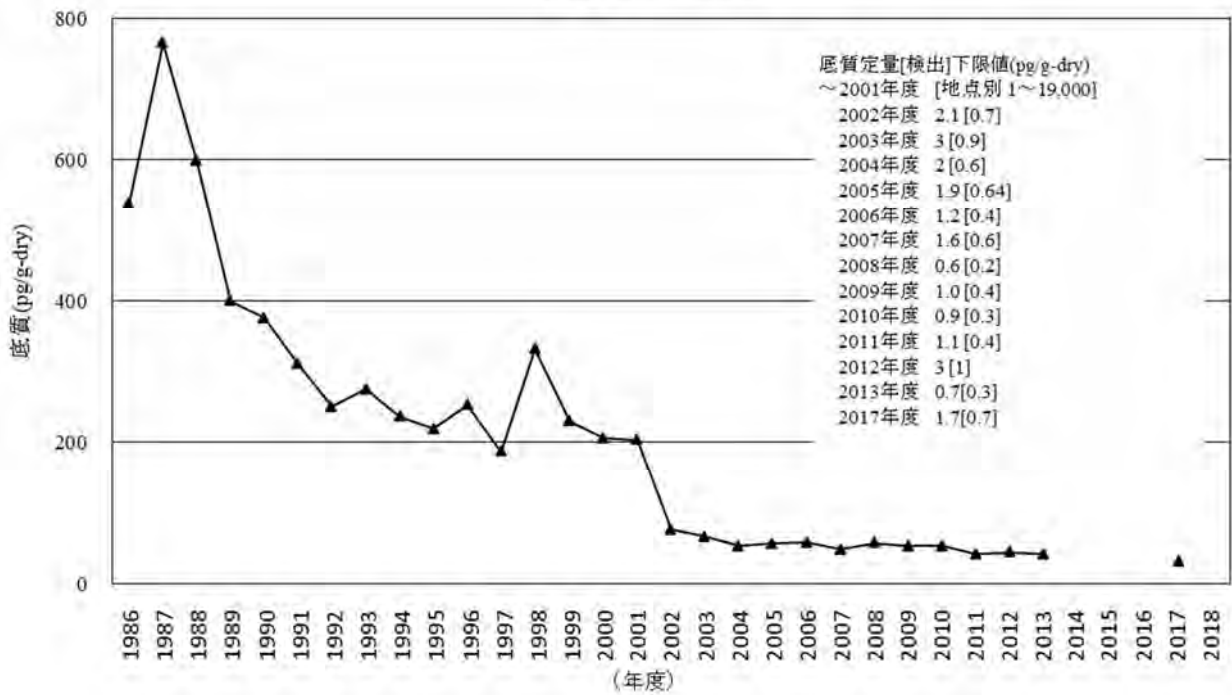
[7-3] オキシクロルデン



- (注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。
- (注2) 鳥類は2013年度に調査地点及び調査対象生物を変更したことから、2012年度までの結果と2013年度以降の結果に連続性がないため、2013年度以降の結果を示していない。
- (注3) 2014年度、2015年度及び2017年度は調査を実施していない。

図 6-3 オキシクロルデンの生物の経年変化 (幾何平均値) (参考)

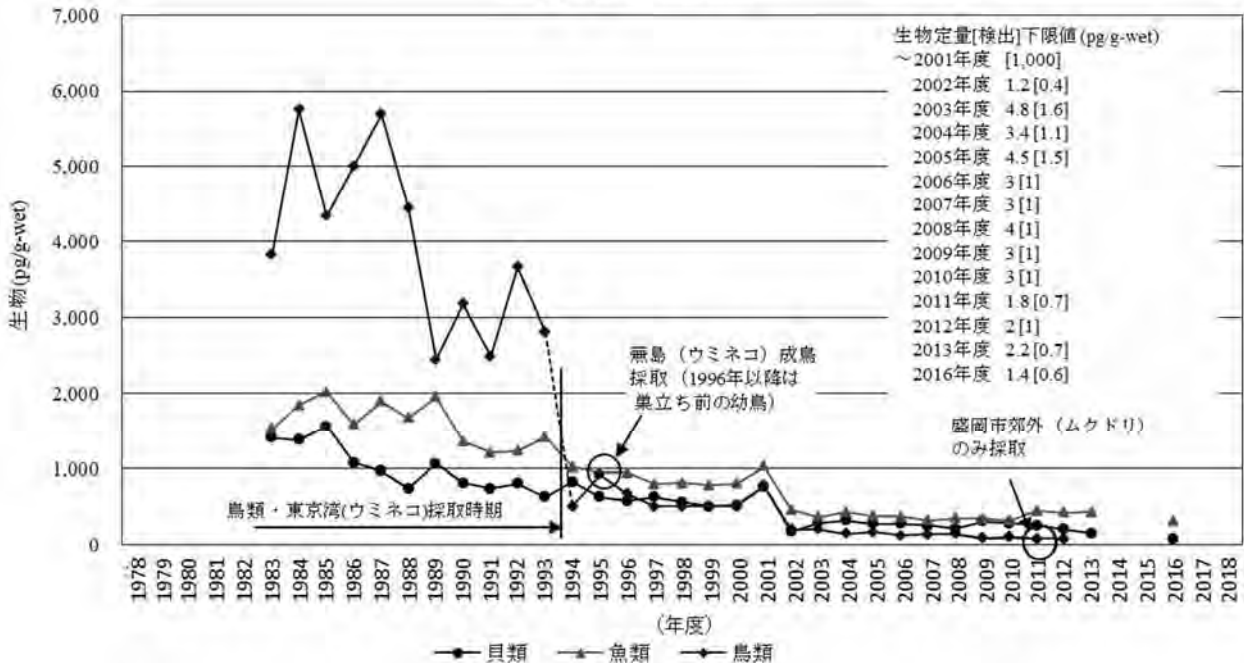
[7-4] *cis*-ノナクロル



(注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。
 (注2) 2014年度から2016年度は調査を実施していない。

図 6-4-1 *cis*-ノナクロルの底質の経年変化 (幾何平均値) (参考)

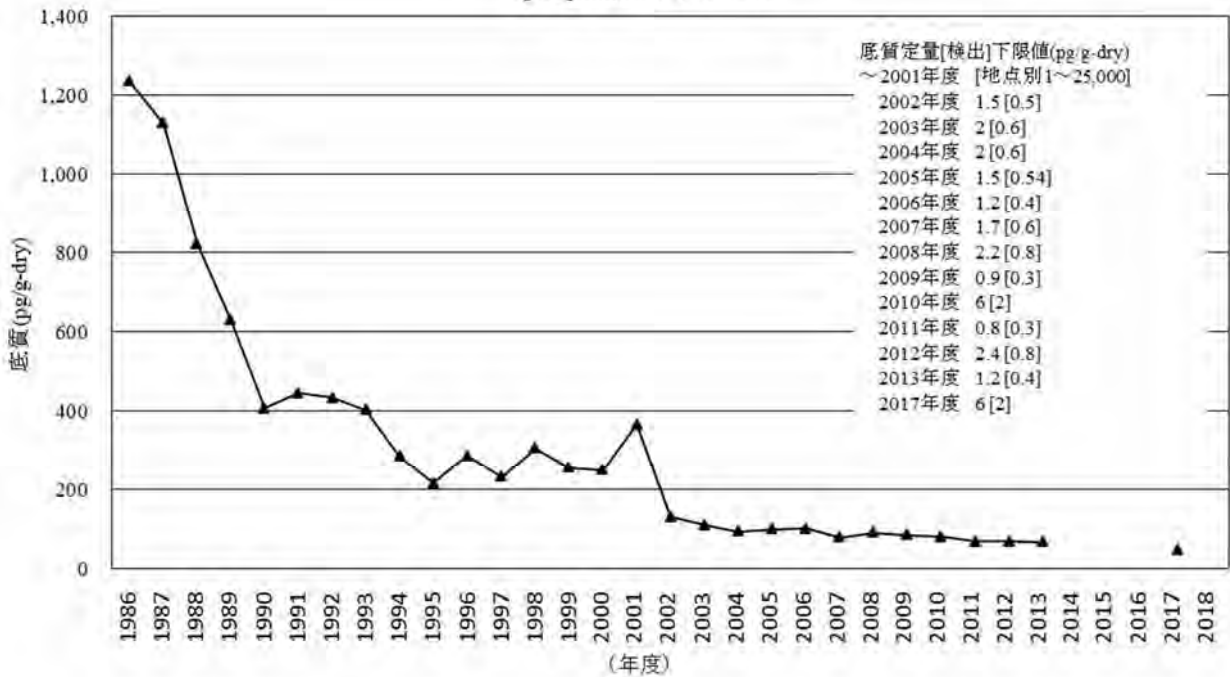
[7-4] *cis*-ノナクロル



(注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。
 (注2) 鳥類は2013年度に調査地点及び調査対象生物を変更したことから、2012年度までの結果と2013年度以降の結果に継続性がないため、2013年度以降の結果を示していない。
 (注3) 2014年度、2015年度及び2017年度は調査を実施していない。

図 6-4-2 *cis*-ノナクロルの生物の経年変化 (幾何平均値) (参考)

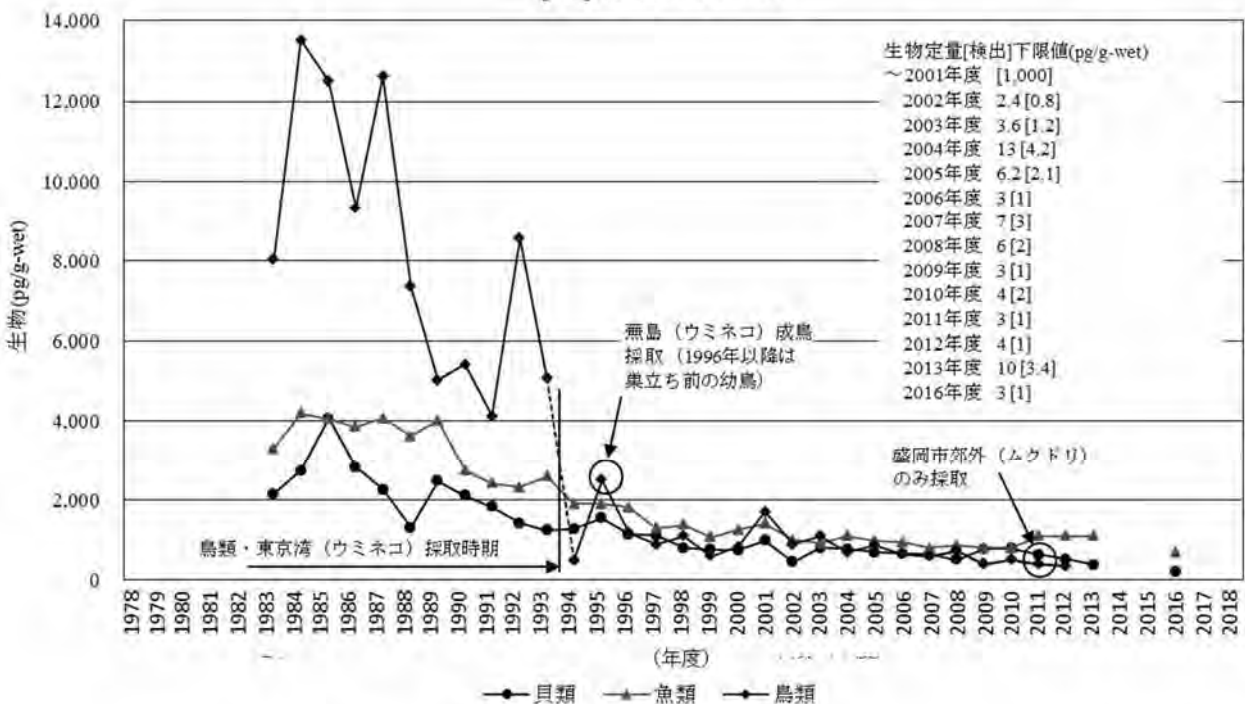
[7-5] *trans*-ノナクロール



(注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。
 (注2) 2014年度から2016年度は調査を実施していない。

図 6-5-1 *trans*-ノナクロールの底質の経年変化（幾何平均値）（参考）

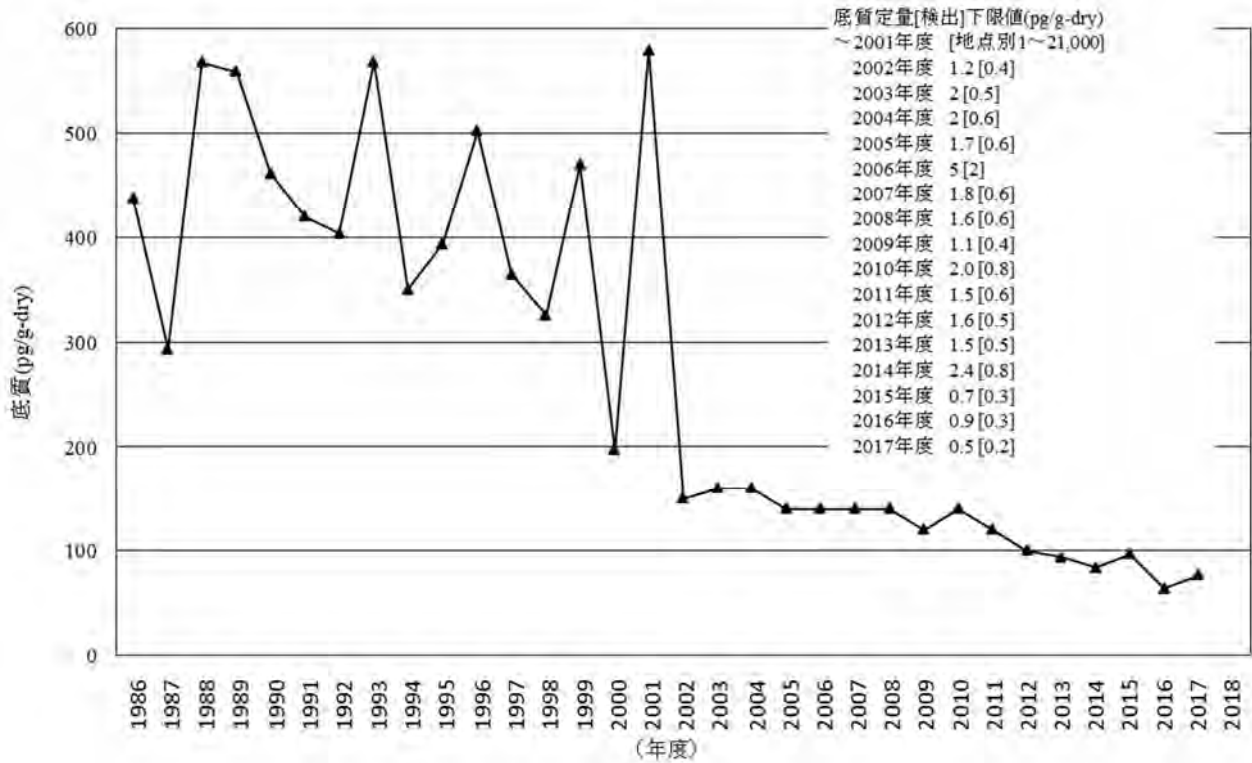
[7-5] *trans*-ノナクロール



(注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。
 (注2) 鳥類は2013年度に調査地点及び調査対象生物を変更したことから、2012年度までの結果と2013年度以降の結果に連続性がないため、2013年度以降の結果を示していない。
 (注3) 2014年度、2015年度及び2017年度は調査を実施していない。

図 6-5-2 *trans*-ノナクロールの生物の経年変化（幾何平均値）（参考）

[11-1] α -HCH



(注) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。

図 7-1-1 α -HCH の底質の経年変化 (幾何平均値) (参考)

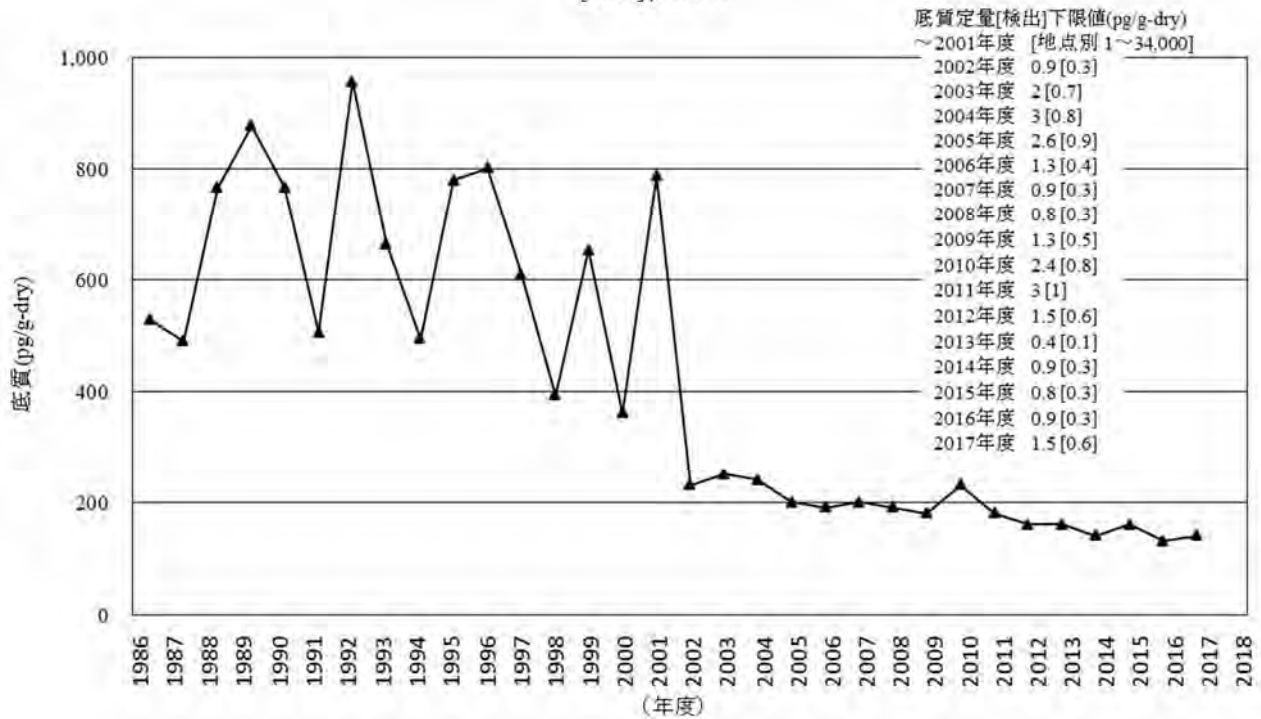


(注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。

(注2) 鳥類は2013年度に調査地点及び調査対象生物を変更したことから、2012年度までの結果と2013年度以降の結果に継続性がないため、2013年度以降の結果を示していない。

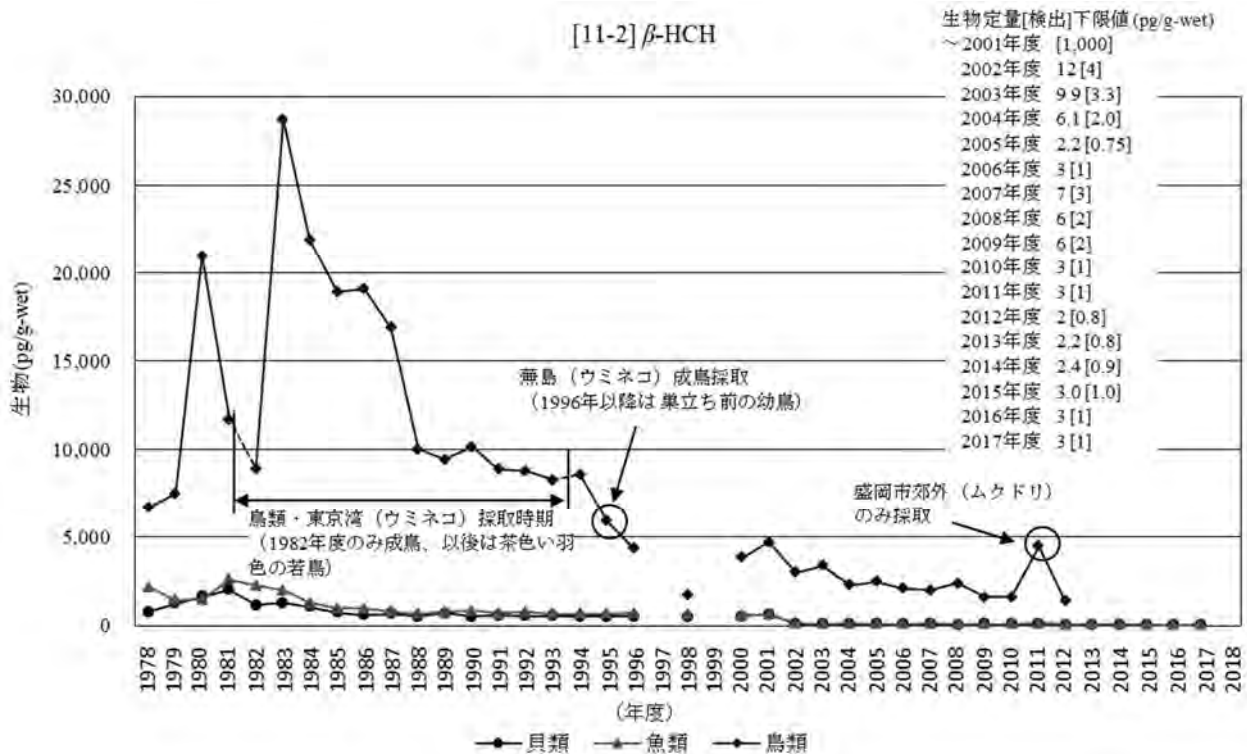
図 7-1-2 α -HCH の生物の経年変化 (幾何平均値) (参考)

[11-2] β -HCH



(注) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。

図 7-2-1 β -HCH の底質の経年変化 (幾何平均値) (参考)

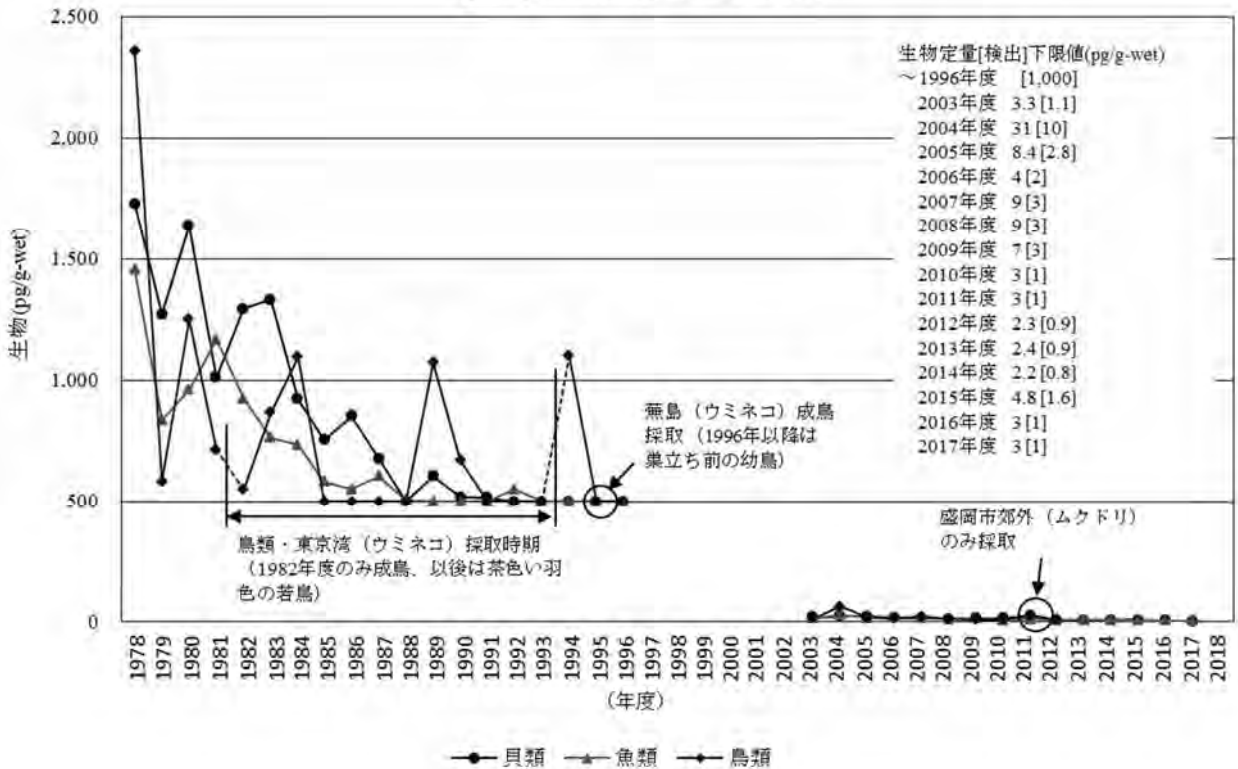


(注 1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。

(注 2) 鳥類は2013年度に調査地点及び調査対象生物を変更したことから、2012年度までの結果と2013年度以降の結果に継続性がないため、2013年度以降の結果を示していない。

図 7-2-2 β -HCH の生物の経年変化 (幾何平均値) (参考)

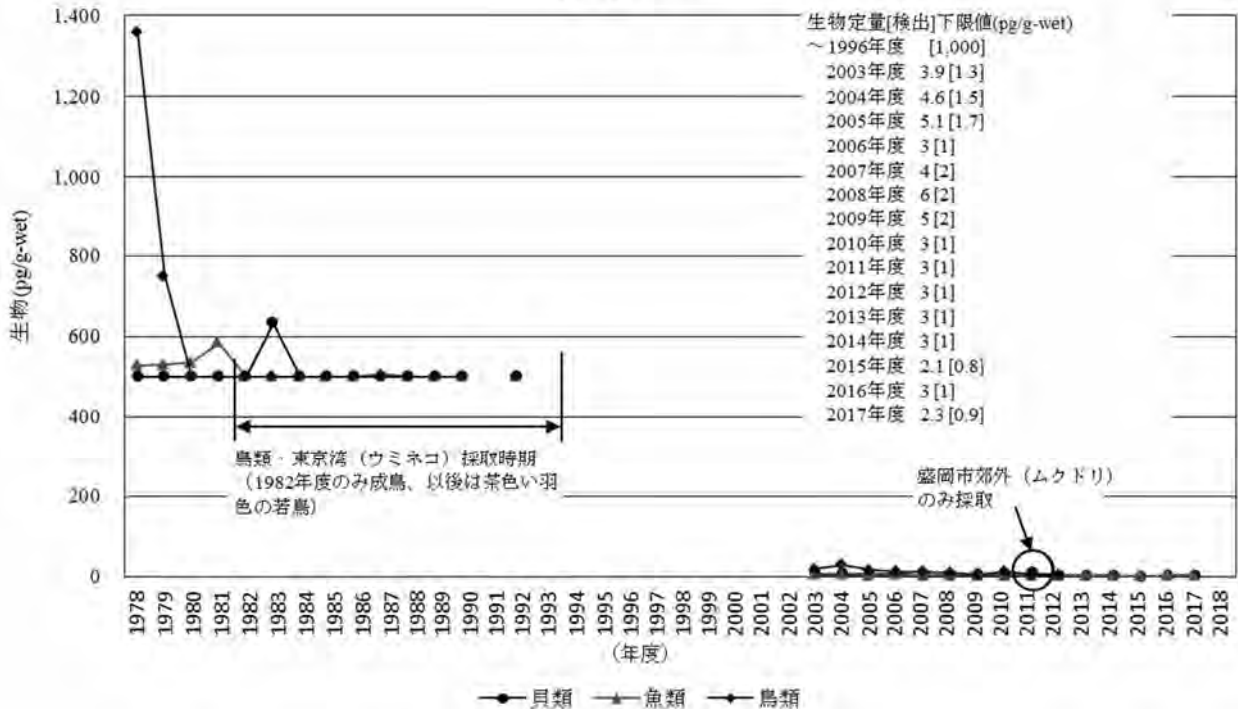
[11-3] γ -HCH (別名: リンデン)



- (注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。
- (注2) 鳥類は2013年度に調査地点及び調査対象生物を変更したことから、2012年度までの結果と2013年度以降の結果に継続性がないため、2013年度以降の結果を示していない。

図7-3 γ -HCH (別名: リンデン) の生物の経年変化 (幾何平均値) (参考)

[11-4] δ -HCH



- (注1) 2002年度から2009年度は、各地点における算術平均値を求め、その算術平均値から全地点の幾何平均値を求めた。
- (注2) 鳥類は2013年度に調査地点及び調査対象生物を変更したことから、2012年度までの結果と2013年度以降の結果に継続性がないため、2013年度以降の結果を示していない。

図7-4 δ -HCH の生物の経年変化 (幾何平均値) (参考)